

TEO －もうひとつの地球－
公式ワールドガイド

惑星TEOの博物館！



フィンフィンはもちろん、新しいファミリーや
TEOアニマルたちと、今よりももっと仲良くなるための
情報が満載！ 未公開資料も豊富な、
TEOの世界がよくわかるワールドガイドブック！

新刊書籍のご案内

PlayStation用ゲームソフト

●ザ・ファミレス 公式ガイドブック
予価：本体1,200円 '98年12月上旬 発売予定

●ゼウス - カルネージハートセカンド -
公式ガイドブック（仮題）
予価：本体1,100円 '98年11月上旬 発売予定

●ナビット 公式ガイドブック
定価：本体1,200円

●バーチャル競艇'98 公式ガイドブック
定価：本体1,200円

●レイクマスターズ2
バスフィッシング イン ジャパン 完全研究
定価：本体1,200円

●コロニーウォーズ 公式ガイドブック
定価：本体1,100円

●K.O.- ザ・ライブ・ボクシング- 公式ガイドブック
定価：本体1,100円

●炎の料理人 クッキングファイター好（ハオ） 公式ガイドブック
定価：本体1,200円

●ネオ アトラス 公式ガイドブック
定価：本体1,200円

●ネオ アトラス 上級攻略研究編
定価：本体1,200円

Windows95用ゲームソフト

●戦闘国家-IMPROVED- 公式ガイドブック
定価：本体1,500円

●ザ・ファミレス 公式ガイドブック
定価：本体1,800円

●A5完全版 バリューキット CD-ROM付
定価：本体1,900円

●A5完全版 モデルマップ&鉄道データ
定価：本体1,300円

●Microsoft Flight Simulator 98
エンジョイフライトガイド
定価：本体1,400円



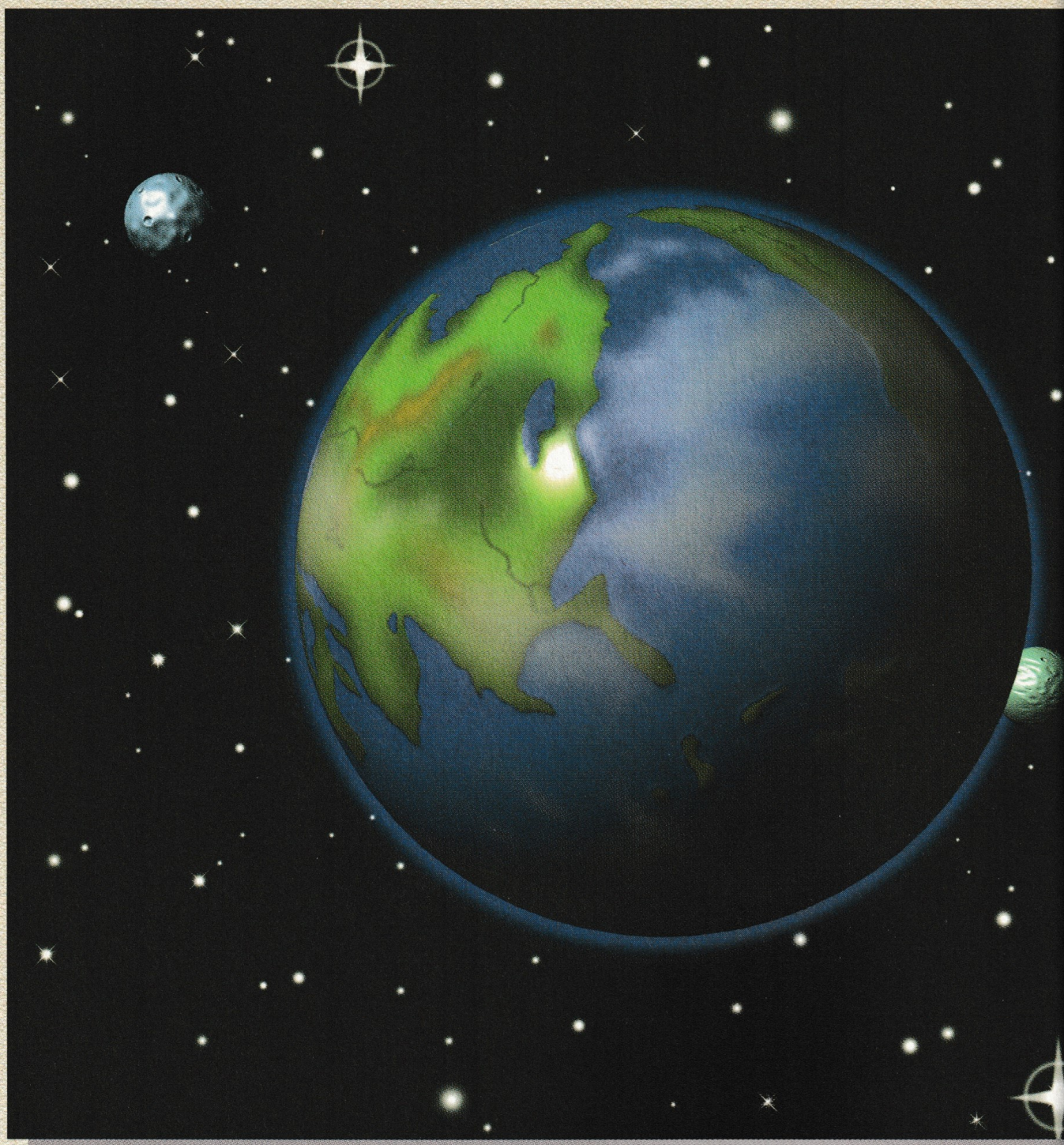


TEO

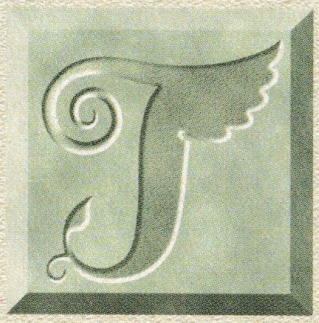
The Other Earth

—もうひとつの地球—

公式ワールドガイド



TEO



PROLOGUE

遠い宇宙のかなたに、もうひとつの地球が発見されました。
その星の名は「TEO」といいます。
TEOは地球そっくりな星で、空気もあり水もあり、
たくさんの生物が棲んでいます。
わたしたちはTEOをもっとよく知るため、
通信機を送りこみました。
この通信機を通して、TEOの生き物と交信しています。
そしてTEOの秘密が少しずつ解明されてきました。
実は昔々、地球とTEOは深いつながりがあったのです。
しかしその真実は、まだ謎のままです。

TEO
The Other Earth
—もうひとつの地球—

C O N T E N T S

●第1章● TEO 自然博物館

惑星TEO大研究 6

惑星TEO　生物大図鑑 12

アミルの森 16
ツブの林 26
ひみつの入江 42
レム川のほとり 52
エルモの谷 56
いこいの巣 70

出現アニマル＆プラント一覧 80

●第2章● TEO データファイル

『TEO』スタッフインタビュー 82
手塚眞／池野美紀・村上公一／赤城忠治／奥平イラ

コンタクティ インタビュー　コンタクティ訪問！ 94

TEO 線画作品展覧会 98

アニメ＆コマーシャル　秘蔵フィルム大公開 104

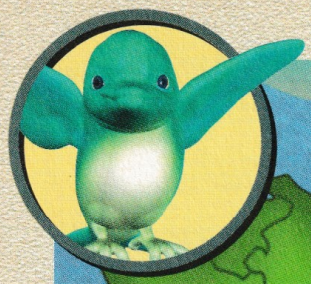
TEO グッズ＆アイテム紹介 106

『TEO —もうひとつの地球—』広がるネットワーク 110

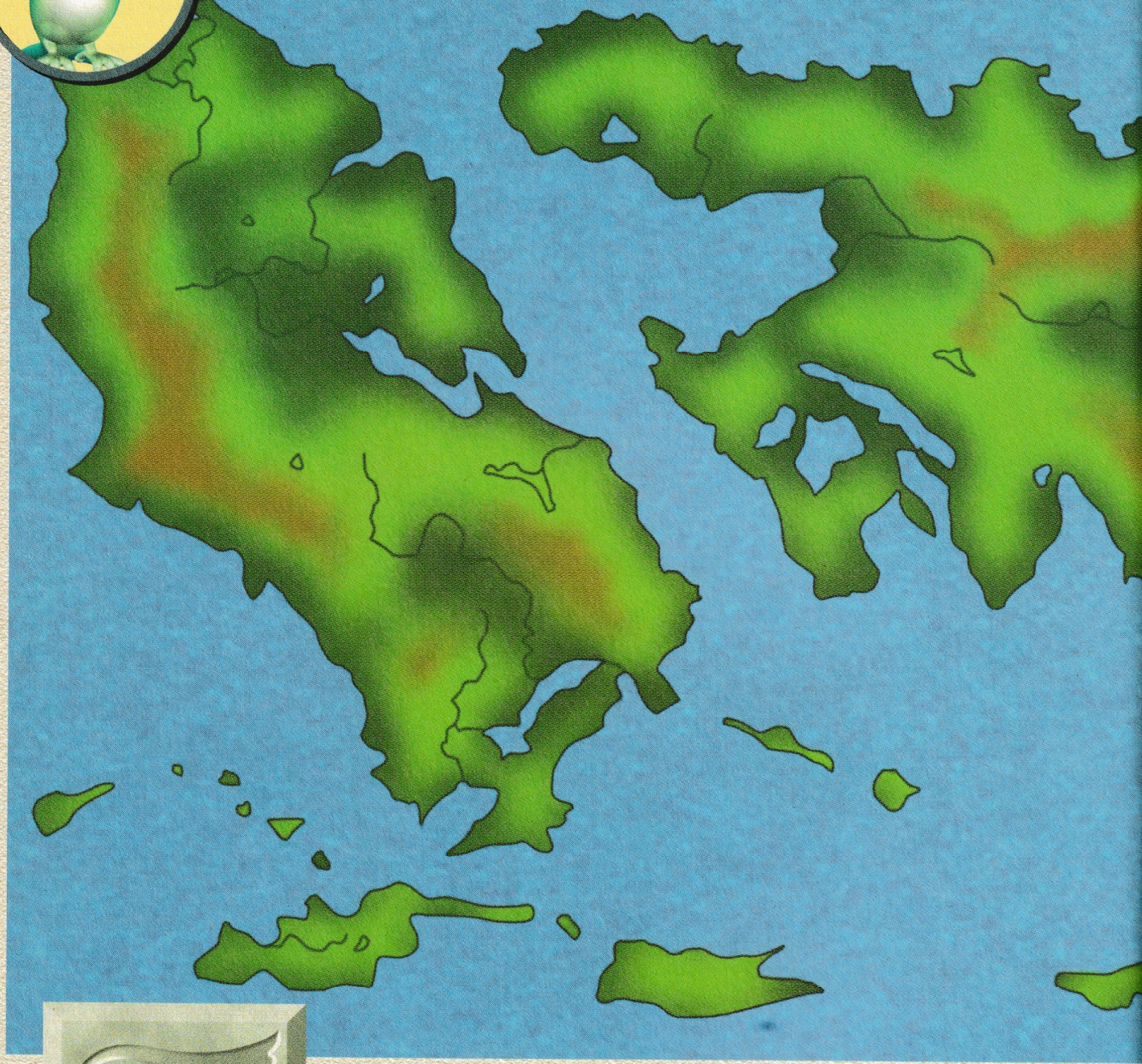
TEO
自然博物館

TEO Natural Museum

私たちが、コンタクトをとる惑星、「TEO」。
この星のペルナという地区では、
鳥でもイルカでもない、フィンフィンという生物が存在する。
ここでは、フィンフィンや、ペルナ地区の自然、
フィンフィン以外に生息する70種類以上の生物たちを大紹介する。

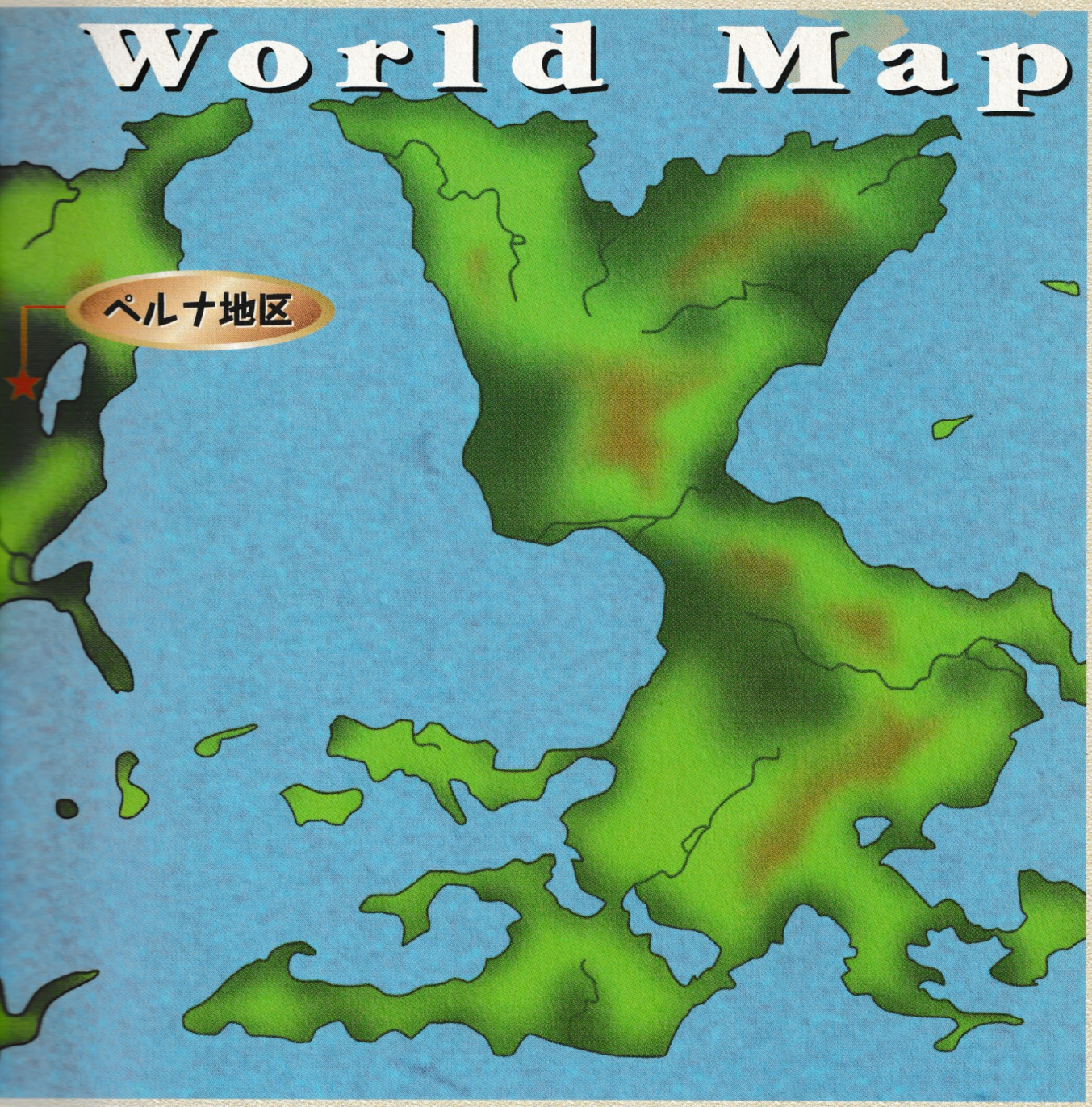


Planet TEO



地球と同じように時間が流れる惑星、「TEO」。
この広い惑星のなかのペルナ地区にフィンフィンと、
他の動物や植物たちが生息しているのだ――。

惑星TE



惑星「TEO」でも地球と同じように、1年は365日、1日は24時間で進んでいる。四季があり、天候も変化する。雨が降り、風が吹き、雪も積もる。「TEO」とコンタクトをとった人だけが楽しめる、惑星「TEO」の美しさと偉大さ……。心のコンタクトを通わせた人のみが、この自然を楽しめ、TEOの未知なる謎を解き明かすことができるのだ……。

0大研究

ペルナ地区

PELNA AREA MAP

西

南　北

東





ひみつの入江

フィンフィンがひそかに水浴びするところ。



ツブの林

フィンフィンが食事をとる林。ツブのたねがなっている。



レム川のほとり

TEOアニマルが魚をもとめて集まる場所。ちょっぴり危険。



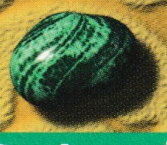
エルモの谷

フィンフィンの遊ぶところ。エルモの実がなっています。



いこいの巣

フィンフィンがお嫁さんと出会い、赤ちゃんを育てるところ。



アミルの森

フィンフィンの生活の中心。コンタクトはここで！

特徴
CHARACTERISTIC

フィンフィンのなわばりであるペルナ地区には、地球の温帯と同じ様な四季がある。冬でも平均気温が摂氏14度で、夏は摂氏30度前後と少し高めだ。

また、「TEO」にはふたつの衛星があり、大きい方が「アダム」、小さい方は「ヴィーダ」と呼ばれている。月の満ち欠けは28日周期になっており、赤ちゃんはこの月の周期によって生まれてくる。



オーロラ
AURORA

地球では高緯度地方でしか見ることのできない発光現象。この美しいオーロラを惑星「TEO」で見ることができる。

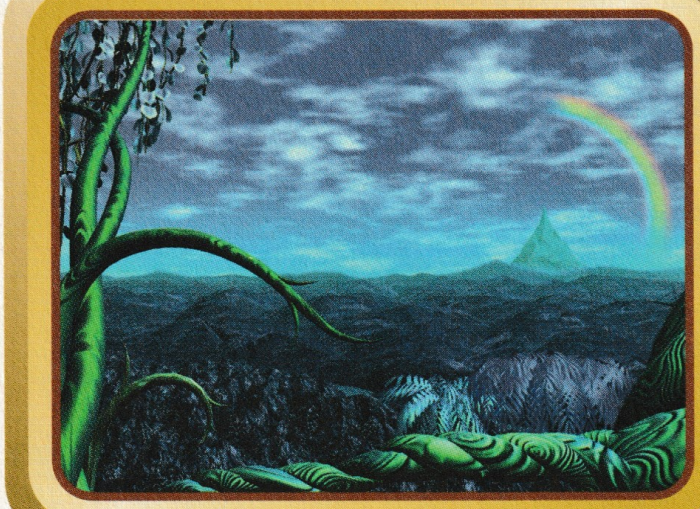


ペルナ地区はTEOの中緯度にあるが、1年を通じて夜中に観測されている。いちばん発見の可能性が強いのは、1月だ。注意しておけば、観測できるはずだ。



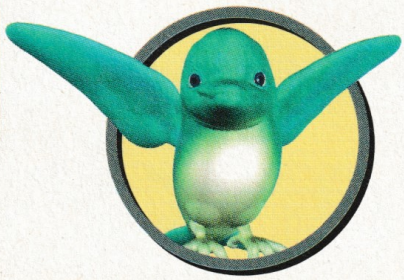
虹
RAINBOW

ペルナ地区では、２種類の虹を見ることができる。地球でもよく目にするブリッジ型と、独特の形をした球型の虹だ。



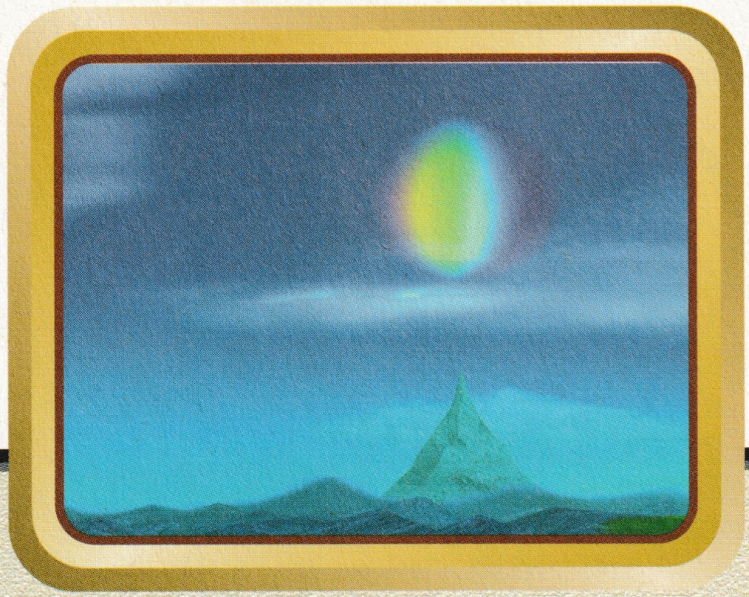
ブリッジ型

冬と夏によく観測されるブリッジ型の虹。地球とは違って雨の後に見られるといったことはない。水滴の変わりに、何がプリズムになっているのかは、まだ解明されていない。



球型

夏に現れるボール型の虹はペルナ地区でも大変珍しいとされ、１年に１回程度しか観測できるチャンスはない。これを目撃したコンタクティには、幸せが訪れるとされている。



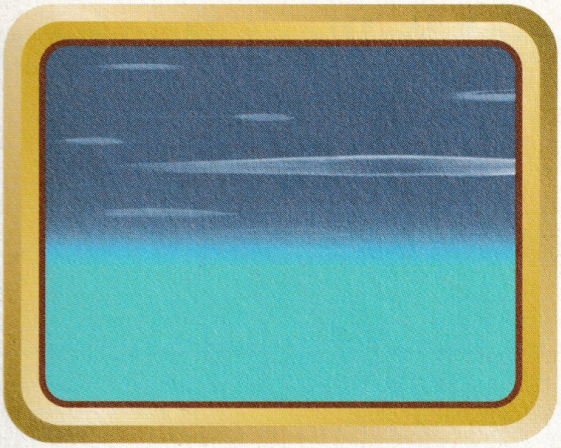
雲
CLOUD

天気のいい日には、雲の形状が常に変化していることを確認することができる。雲の観測でペルナ地区の季節も把握できる。



バネ雲

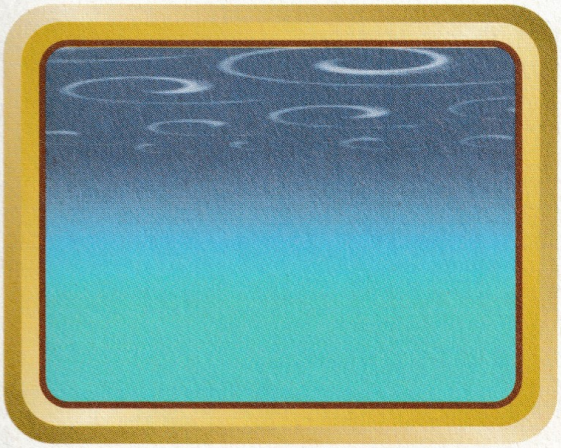
バネの形状。夏の晴れた日に5月から9月まで見ることができる。



レンズ雲

地球でも同じような雲があり、3月から4月の春によく見られる。



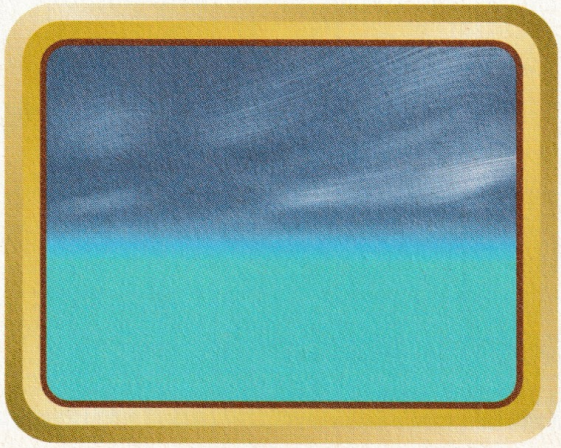


巻き雲

9月から12月の秋に観測できる。指で円を描いたような独特の雲だ。

繊維雲

繊維状の雲。地球の「節雲」に似ている。12月から2月に出現。



惑星TEO

Illustrated Animal & Plant Book

**ペルナ地区では全部で76種類のアニマルとプラントが確認されている。
ここでは、個性的な生物たちの特徴を詳しく解説する。
キミのお気に入りの生物をもう一度チェックしてみよう！
キミの知らなかった新しい生物たちとも出会えるかもしれないぞ。**

フィンフィンの生活
Life of FinFin



●食事

- 「エルモの実」……水分やビタミンがたっぷり。主食というよりも甘いおやつ。
- 「ツブのたね」……金色に光る栄養満点のフィンフィンの主食だ。
- 「さかな」……レム川やひみつの入江でとる。
- 「ヤイカの葉」……アミルの森で大きな木に下がっている。胃薬にもなる。

●歌

気分が良い時や何かを伝えたい時に歌う。歌は気持ちや体調、季節によって変化する。

●体調

夜中にずっと起きていたり、自分の体調のリズムが崩れると病気に。体の色がグレーに変化し動かなくなったら、病気の印だ。

●睡眠

夜になると眠るフィンフィン。前の晩にあまり眠っていないときは、朝寝坊をしたり、昼寝をすることがある。

●アクロバット飛行



喜んでいる時に見せるのがアクロバット飛行。それ以外に仲間に対する信号の役目も果たす。

生物大図鑑



フィンフィン
FinFin



海にいたイルカに似た哺乳類が、陸に上がり空へ進出した。6つのなわばりのポイントを中心に、自分の意志と生活のリズムを持って暮らしている。好奇心は旺盛で「歌をうたう」、「アクロバット飛行」はフィンフィン特有のコミュニケーション方法だ。大きさはネコぐらい。

—色変わりフィンフィン—
Color FinFin



フィンフィンの大好きなエルモの実。食べさせる色によってフィンフィンの体の色が変化する！　緑、黄色、ピンク、オレンジ、赤、濃いピンクの順で熟しているぞ。

よっぱらいフィンフィン

ゲップとしゃっくりまでするこの状態は、まさしく“おやじフィンフィン”。熟したエルモの実をいくつも食べさせると、フィンフィンはピンク色に変化。酔っぱらった表情がかわいい。

YELLOWフィンフィン



黄色のエルモの実をあげ続けるとフィンフィンは黄色に変化する。完全な黄色になると、酔っぱらったり、新月と満月の日にもとに戻ることができるぞ。

GREEN フィンフィン



まだまだ熟していない、エルモの実を食べさせると、フィンフィンの体がは緑色に。せっかくの大好物のエルモの実……。おいしく食べさせてあげようよ。

—フィンフィンの成長過程—
Process FinFin



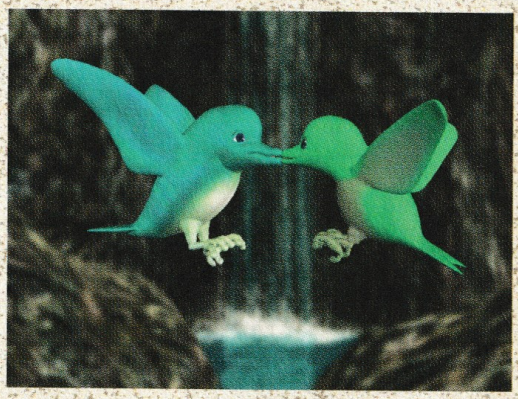
フィンフィンは卵生動物で卵からかえる。はじめは人間の子供のように地面をはっているが、しばらくすると、2本足で歩けるようになり、水に入ったり、飛んだり、石をけったりして遊ぶようになる。歩行が可能になると勝手にどんどん行動してしまうので注意が必要だ。マメに声をかけてあげよう。

—フィンフィンの家族—
FinFin's Family



フィンフィンの巣では、親子が一緒に団らんを過ごす姿が見れるかもしれない。

いこいの巣で一緒に暮らしているフィンフィンの家族。お母さんは、子供にエサをやったりと大忙し。



自分の感情を持っているため、もちろん恋もする。赤ちゃんフィンフィンが待ち遠しい。

Welcome To Planet TEO



お気に入りの枝で遊ぶフィンフィンと、浮遊する植物ポムポム。フィンフィンは、どうやらポムポムが飛んできたのを喜んでいる様子だ。遠景には虹がかかっているのが見える。ＴＥＯの気象を研究する上でも、貴重な記録のひとつだ。



アミルの森

ペルナ地区東側に位置するこの森は、
フィンフィンが１日のほとんどを過ごす場所だ。
我々コンタクティは、
惑星TEOに置かれた通信機を介して、
フィンフィンと遊ぶことができる。
フィンフィンの大好物「エルモの実」を
あげたり、呼びかけたりして仲良くなろう。

Animal



カゼドリ
Windy Bird

最大で2mにもなる鳥のような生物。羽ばたかずに弧をかくようにしてグライディングで飛行する。空のような青い色の体を持ち、「ピルルル」という鳴き声を上げる。



シェルビートル
Shell Beetle

黄色い貝殻のようなかたい殻を持った15cmほどの生物。ハチのように薄い羽を細かく動かし、「ガシャガシャ」という音をたてて飛行する。休むときは羽をかたい殻の中に納める。ピンク色のものも観察されている。



ギザギサ
Flutter Fish

50cmほどの水色のボディに緑色の翼を持つ。魚のような姿をしているが、カエルのような鳴き声をあげる。なぜか雨の日には現れることがなく、群れを作るかどうかはまだ分からない。



パタパタ
Pata Pata Bird

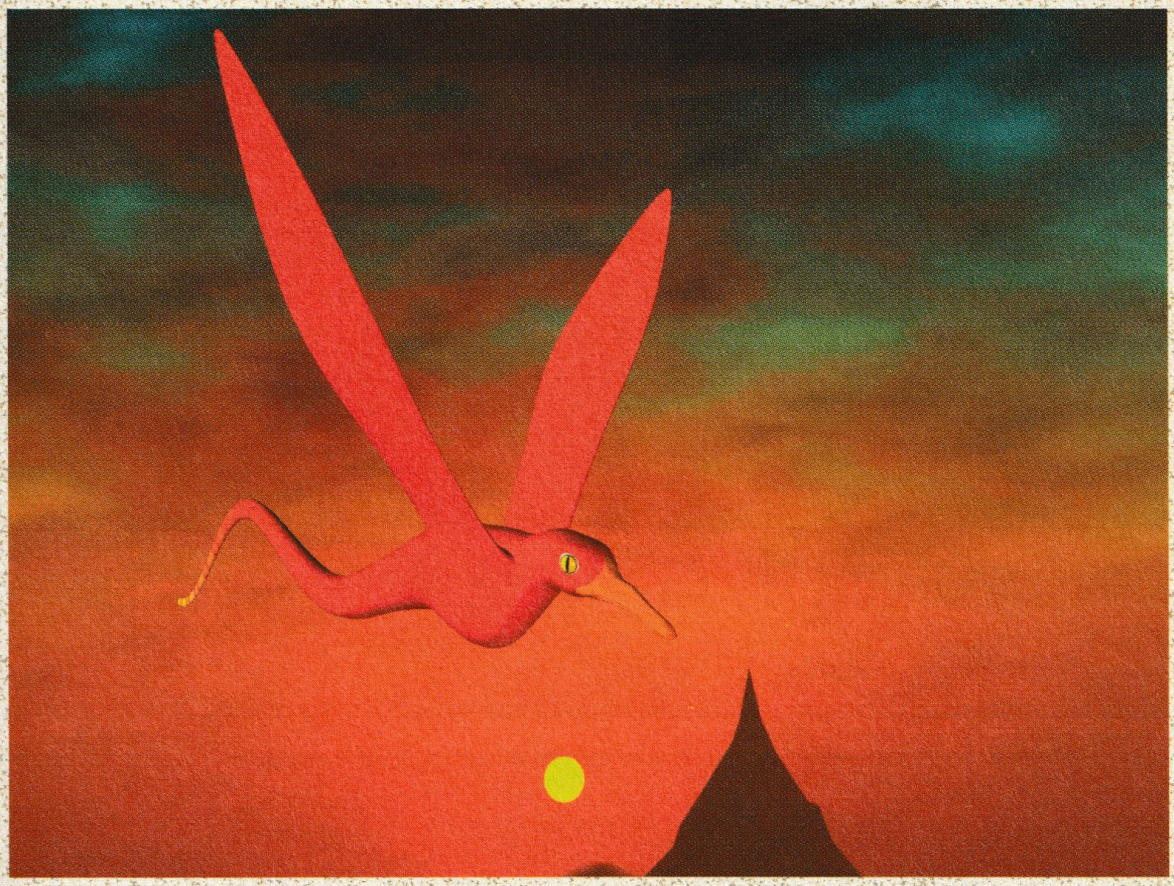
50cmほどもある大型のコウモリのような生物。朝に、アミルの森から見えるもっとも高い山・エルメス山方面から現れ、夕方に帰っていく。4頭の群れが観測されていたが、最近になって大群の観測報告もされている。



ヒラリン

Hoverfly

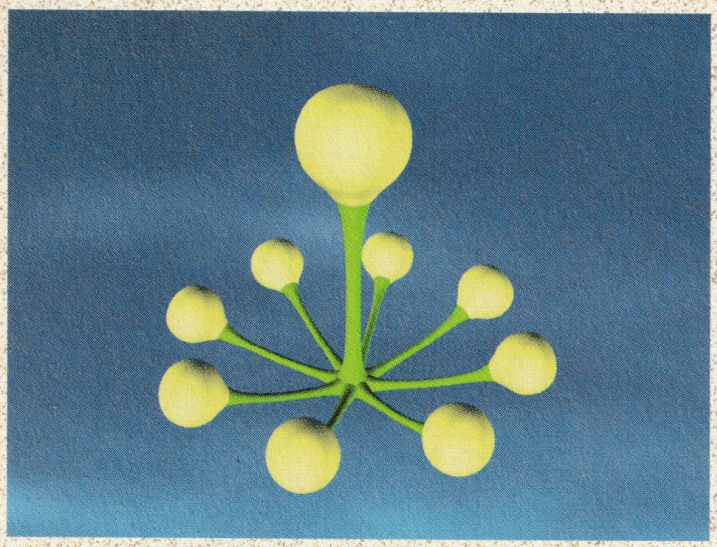
蝶に似た生物。体色は緑で、大きさは平均して10㎝ほど。結晶花が赤く色づく春先に羽化し、月光草に枯れる夏の終わりまで活動している。晴れた日の日中、花のそばで見つけることができる。



シュルル
Shul Bird

全身が赤く、クチバシが黄色い鳥。ヘビに似た長いシッポを持つ。雨の降る前後に現れ、大きさは50cmほどで「シャカシャカ…ツクツク」という鳴き声をあげる。

Animal



ポムポム
Pom Pom

8本の足のような物をもった生物。時おり、タコやイカのような動きを見せることもある。大きさは20cmほどで、新月の夜にしか現れない。



ハワチ
Hawachi Bird

成長すると1mにもなる鳥。地球のトウーカン鳥に似たクチバシを持っているが、この鳥は翼が赤から紫のグラデーションになっている。鳴き声が観測されたことはない。



オハナチャン
Floating Flora

薄ピンクの花びらを持ち20cmほどに成長する飛行草。よく晴れた日の風に乗り、葉をプロペラのように回して漂う。地面につくとゼンマイ状の根を下ろし、動かなくなる。



シンゴウムシ
Signal Bird

赤青黄に点滅することからこの名前がつく。日が沈んだあとに活動し、常に何匹かで編隊を組んで飛び回っている。大きさは7cmほどで、枝に沿って飛ぶという変わった習性を持つ。

アミルの森

Plant



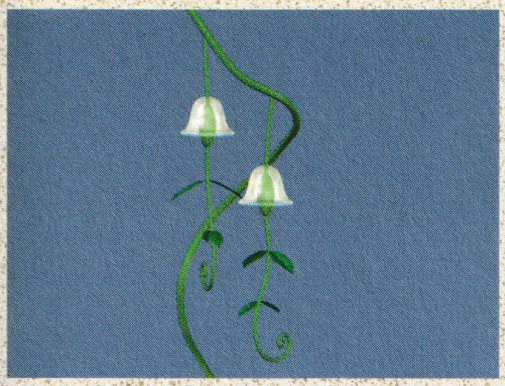
月光草
Luna Flower

日中には花を開かずに、夜になると月の光を受けたかのように白く美しい花を咲かせる。８月から９月までが開花時期で、この時期になると幻想的な風景がアミルの森などで見ることができる。



結晶花
Crystal Flower

２月～５月までの長い期間、花をつけることで有名。２月の初めから終わりにかけて紫の花をつけ、３月から５月はピンクに変わる。最初は粒状のつぼみだが、成長すると大型の花になる。



小鈴草
Little Bell

花と茎をあわせて15cm～18cmほどで、真っ白い鈴のような花をつける。12月のクリスマス前後の10日間だけ花をつけ、お正月を過ぎると、だんだん見られなくなる。



水溜草
Bubbleberry Flower

10月～12月にかけて赤い壷のような実をつける。この赤い実の中に水のような液体を溜めていることからこの名前がつけられた。この液体が飲めるかどうかは分かっていない。



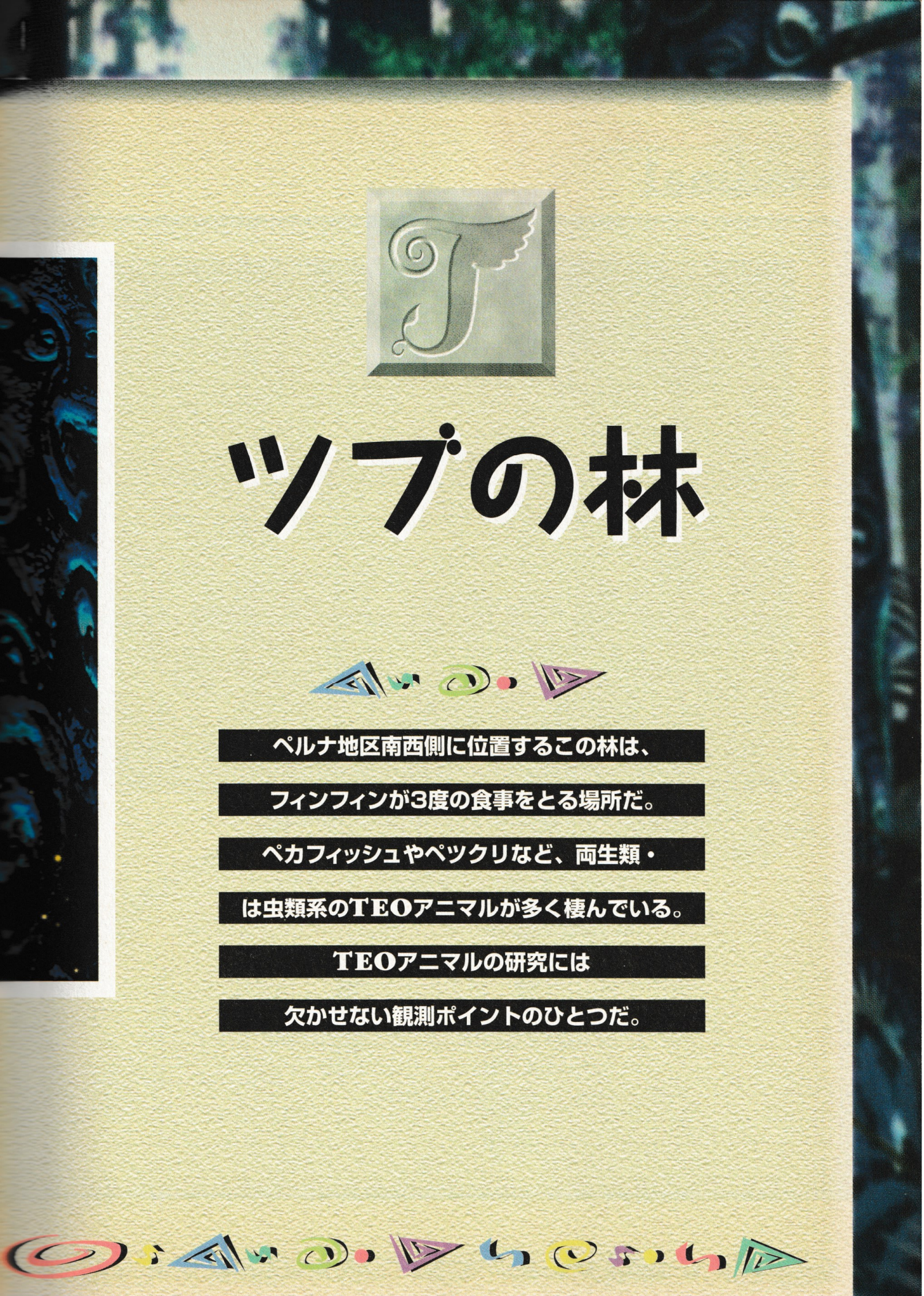
巻き貝草
Shelltwist Flower

TEOの雨期にあたる3月、6月、9月にそれぞれ1週間程度、巻き貝ような花が咲く。特に6月にはこの花がいちばん大きく開く。TEOに雨期を告げる花として知られている。

Welcome To Planet TEO



ツブの実は、みずから落ちることはない。そのためフィンフィンは、自分でツブの木から実を落として食事をする。日没後、フィンフィンのツブの実落としを観測できたコンタクティは幸運だ。金色に輝く実が落ちる様は、妖精の粉を振りまいたような美しさだという。



ツプの林

ペルナ地区南西側に位置するこの林は、
フィンフィンが3度の食事をとる場所だ。
ペカフィッシュやペツクリなど、両生類・
は虫類系のTEOアニマルが多く棲んでいる。
TEOアニマルの研究には
欠かせない観測ポイントのひとつだ。

ツプの林

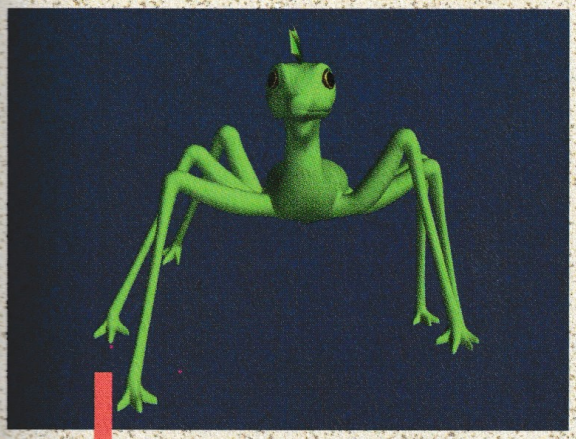
Animal



ギッタン

Spidasaures

クモのような6本足の生物。普段はゆっくりと移動するが、危険を感じると信じられないくらいの速さで動く。人が笑うような「ケケケケ…」という鳴き声をあげる。



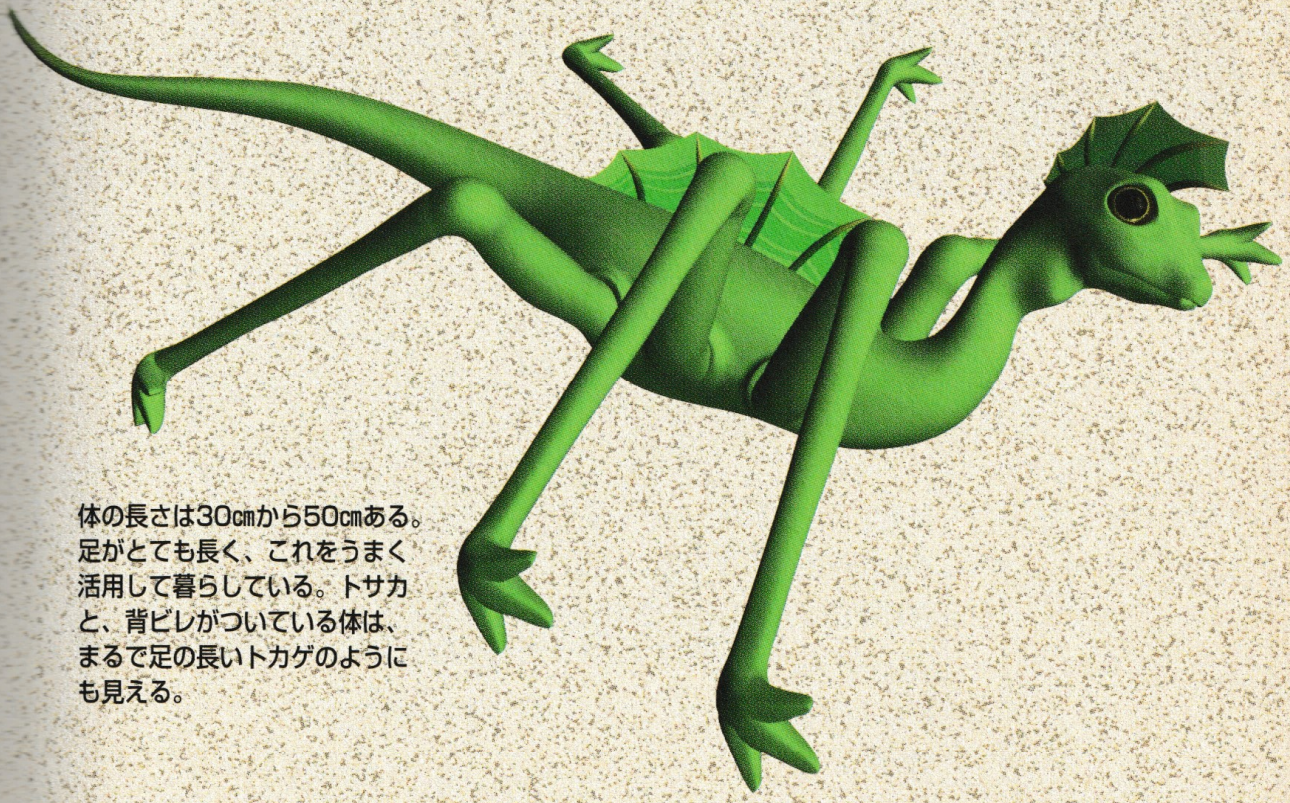
正面

体全体にすると少し小さめな顔を持つ。目はギョロっとしていて、大きい。口はくちばしのようにとがっている。



側面

ギッタンの特徴はなんといってもこの足の長さにあるだろう。長い足の先には手があり、指が3本にわれているのがわかる。



体の長さは30cmから50cmある。足がとても長く、これをうまく活用して暮らしている。トサカと、背ビレがついている体は、まるで足の長いトカゲのようにも見える。

ツブの林

Animal



ヴェイル

V-Rex

体長３mにもなる大型の肉食獣で、イノシシとヒグマを合わせたような姿をしている。ツブの林と谷間に住むとされているが、ひみつの入江でも「グオーグオー」という鳴き声が観測されている。フィンフィンの天敵の中のひとつ。



バトフライ
Bat Fly

30～40cmのコウモリに似た生物で、体はグレー、翼は緑がかっている。翼と耳が一体となっていて、「ピイピイ」というカン高い声で鳴く。



ペクツリ
Palm Tree Snake

ダークグリーンに白い斑点のついたヘビのような生物。花のような尻尾の先を使って虫をおびきよせて捕まえる。何かをこすり合わせるような「シャッシャッ」という音をたてる。

ツブの林

Animal



ペカフィッシュ

Pepperfih

体長が20～50㎝の足のある魚のような生物。緑、紫、赤というハデな体色をしている。集団で林の中を駆け回っている。「クチャクチャ」という奇妙な鳴き声をあげる。



クリッピー
Freaky Bird

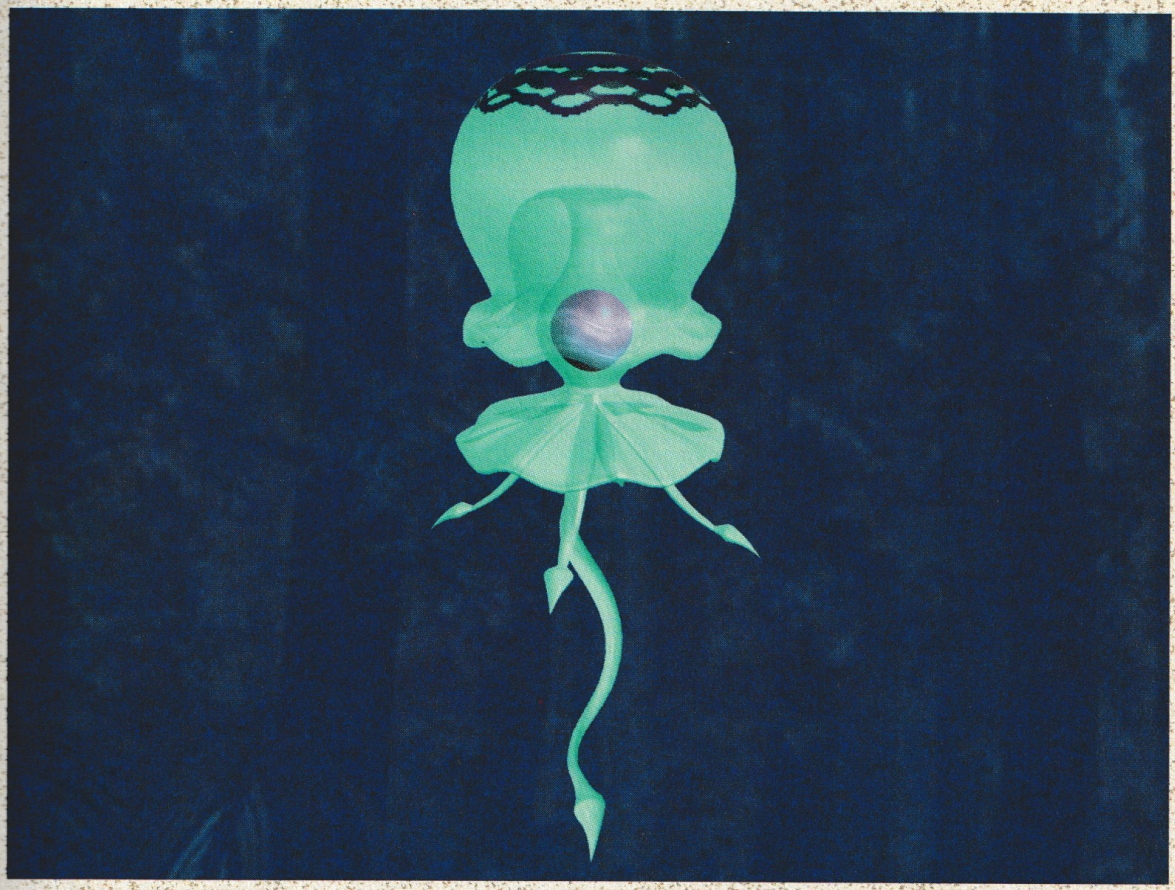
体長20~40cmの小型翼竜。体はサンド・イエローで真っ赤な目が特徴だ。「キーン！クワックワッ！」という鳴き声を上げながら、木の間を縫うように飛びエサをとる。



チチネコ

Tree Cat

ネコとサルを合わせたような夜行性の生物。体色は顔と手足の先が灰白色、しっぽはほとんど真っ白。動きが素早く、木登りが得意で、「ニャギーニャギー」と鳴き声を上げる。



トビクラゲ

Glowing Jelly Fish

空中を漂うクラゲのような生物。風に流されているかと思えば、動かないでじっとしていることもある。移動時に「クチュクチュ」という音をたてることが確認されている。

ツブの林

Plant



白鳥草

White Winter Tear

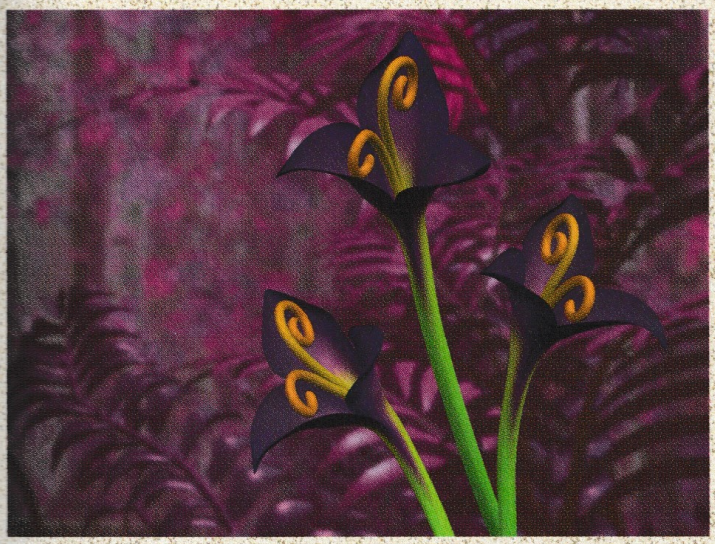
TEOの寒さが最も厳しい時期となる12月に開花する。60cmから100cmにもなる長い茎の先に、小さな白い花をひっそりと咲かせる。TEOの冬を代表する花のひとつだ。



華蝶蘭

Butterfly Orchid

蝶々の羽のような4枚の花びらを持つ。70cm～100cmまで成長し、3月中旬から4月中旬にかけて一斉に開花する。その様子はまるで、たくさんの蝶々が舞っているかのように見える。



春むらさき
Angel Heart Iris

華蝶欄が散った頃に開花。紫色の3枚の花びらを持ち、その中心にオレンジのカールしたおしべがある。その美しい花は見る人の心を和ませてくれる。大きさは70cm～100cmに成長する。



薬玉
Kosuzusou

8月の終わりから9月の終わりになると、緑色のかたい殻が割れ、中に10cmほどの茶色の実がなる。この実を食べると、夏の疲れが癒えるといわれ、体力の回復にもきく。



石の花
Stone Flower

6月上旬～7月中旬にかけて開花する。この時期になると、ターコイズのような石がぽっかりと割れ、真っ赤な菊のような花があらわれる。



まばたき草
Cactune

サボテンような植物で、2月上旬～3月中旬にかけて花が咲く。夜になると、この花が黄色く発光し、まるでまばたきをするように見えるのが特徴だ。



星くず草
Star Flower

小さな星形の花がかたまって咲く。夜になるとキラキラを輝き始め、星が空に帰ろうとするかのように見える。開花時期は5月上旬から6月上旬。

ツブの林

Plant



手まねき草

Calling Lily

白いわた帽子をかぶっていて、青紫の葉でおいでおいでと手招きをしているように見えるのが特徴だ。7月の中旬から8月の上旬にかけて見ることができる。



サンバ草

Samba Flower

9月下旬から11月初旬にかけて一斉に開花する。成長すると高さが100㎝～120㎝ほどになる。黄色い大きな花弁が、サンバの衣装のように見えるのでこの名がついた。今にもサンバを踊りだしそうな雰囲気がある。



ひかりたけ
Mushbulb

11月初めから終わりにかけて見ることができる。きのこのような形をしており、夜になるとかさの部分がランプのようにぼんやりとした光を放つ。



ものいい草
Twolips

大きなくちびるのような赤い花をつける。今にも話し出しそうなことから、この名前がついた。開花時期は12月下旬から1月下旬までで、話し合っているような赤い花たちを見ることができる。

Welcome To Planet TEO



ひみつの入江で、ピケノと語らう（!?）フィンフィン。好奇心旺盛なフィンフィンと、遊び好きなピケノは気が合うらしい。多くのコンタクティによって、フィンフィンとピケノが楽しそうに遊んでいる姿が観測されている。



ひみつの入江

ペルナ地区の西側にあり、フィンフィンが
水浴びをしたり、くつろいだりする秘密の場所。
さらさらと心地よくながれる水音は、
フィンフィンだけでなく、コンタクティの心を
も癒してくれるだろう。
またここは、フィンフィンの友だち・
ピケノの住処でもある。

ひみつの入江

Animal



ハートリ

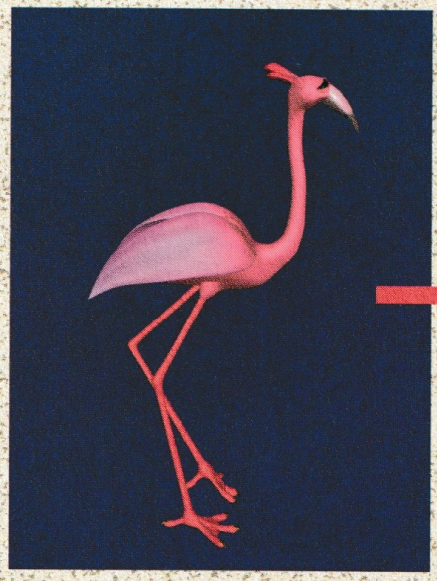
Heartbird

全長80cm程でピンクの体色をした鳥。ハートマークを組み合わせたような姿をしている。ポーズをとるときは羽を動かして「カシャッ」という音をたてる。



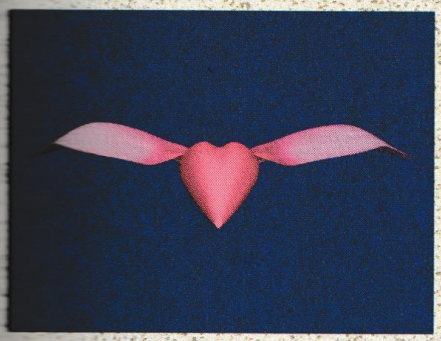
後面

ピンクのハートマークをした体を持つのが特徴だ。気づきにくいが、耳もハート型になっている。くちばしは長く、これでエサをつかまえることができる。



側面

長い2本足を持つ。地球に存在する水鳥によく似た体つきをしている。



翼の大きさはかなりのものだ。後ろからみると、まるでハートマークに翼がはえているような形にも見える。

渡り鳥なので決まった場所に生息しているわけではない。冬にはあまり姿を見せることがないので、観測したいならば、夏のほうが可能性はかなり高い。





ノムサ
Terraphant

2本足でノタノタとペンギンのように歩く。アリクイに似た顔つきしており、カメのような甲羅を持っている。体長は70㎝〜90㎝くらいでライトグレーの体色をしている。



ピケノ
Piki Seal

カワウソとアシカを足したような生物。レモンイエローの細かな体毛と、しなやかな体つきをしており、水の中を上手に泳ぐことができる。鳴き声はまだ観測されていない。



チョウチンガエル
Night Froggy

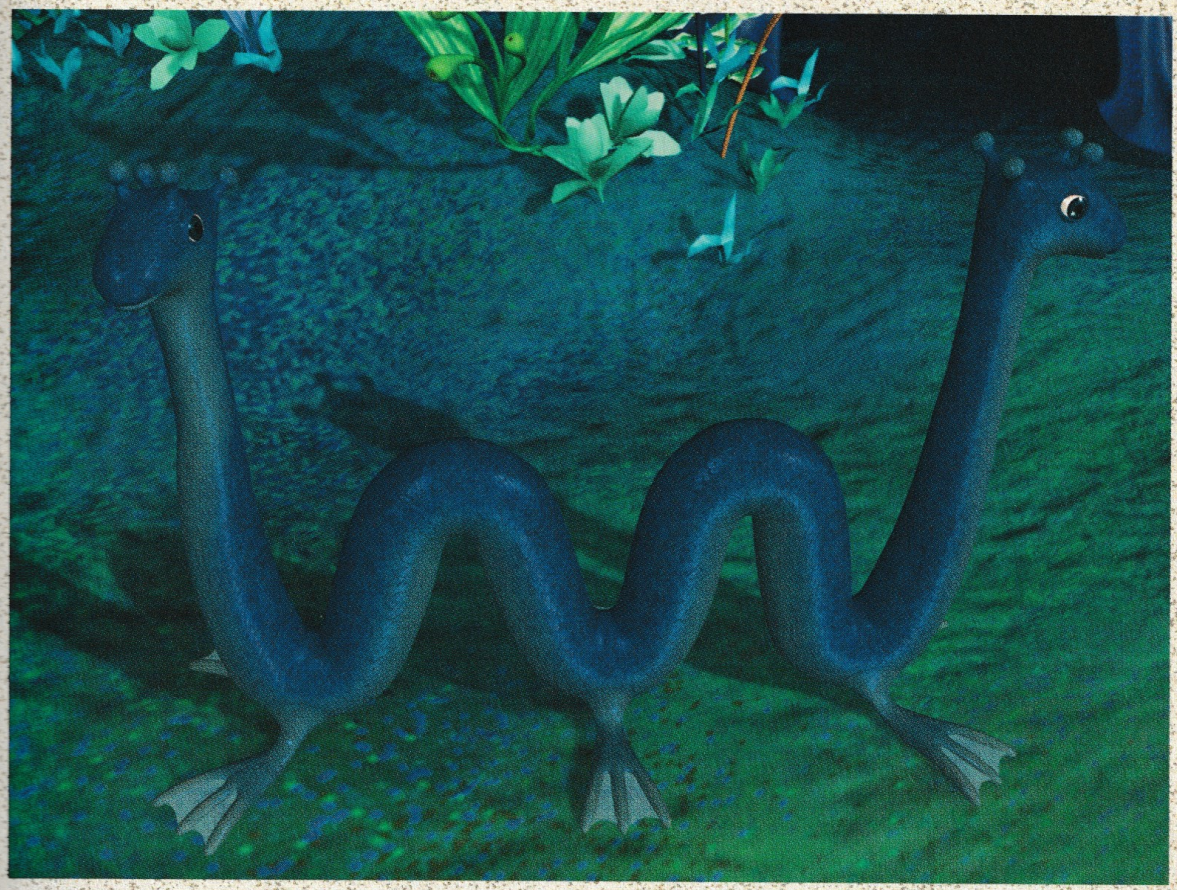
体長が40cm以上にもなるカエルのような生物。体色は茶色だが模様のある個体もいる。夜行性で、頭の上についたライトで自分の口の中を照らして、虫をおびきよせて捕まえる。



カプリトラス

Gabby Fish

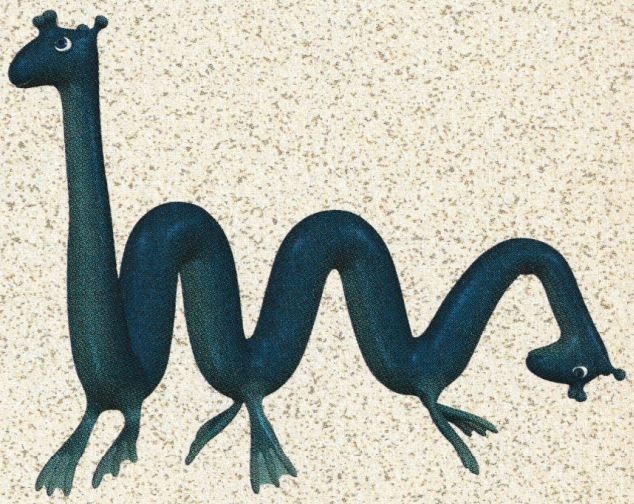
体長80cm～100cmの魚。真っ赤な体に、オコゼのような大きな目と口がついた顔をしている。一見怖そうに見えるが、意外とおとなしい性格をしているのが特徴だ。



エッシー

Essie

全長 1m 程のヘビのような体をした生物。体の両端にコブのついた頭がふたつある。水の中にいるときは片方の頭を沈めている。「ピキューンピキューン」という音をたてる。



Plant



王子草

Royal Crown Flower

紫色の鮮やかな色をした花。この花が王冠をかぶっているように見えるために、この名前がついた。11月下旬から1月の下旬にかけて、よく見ることができる。



ホワイトシークレット
White Secret

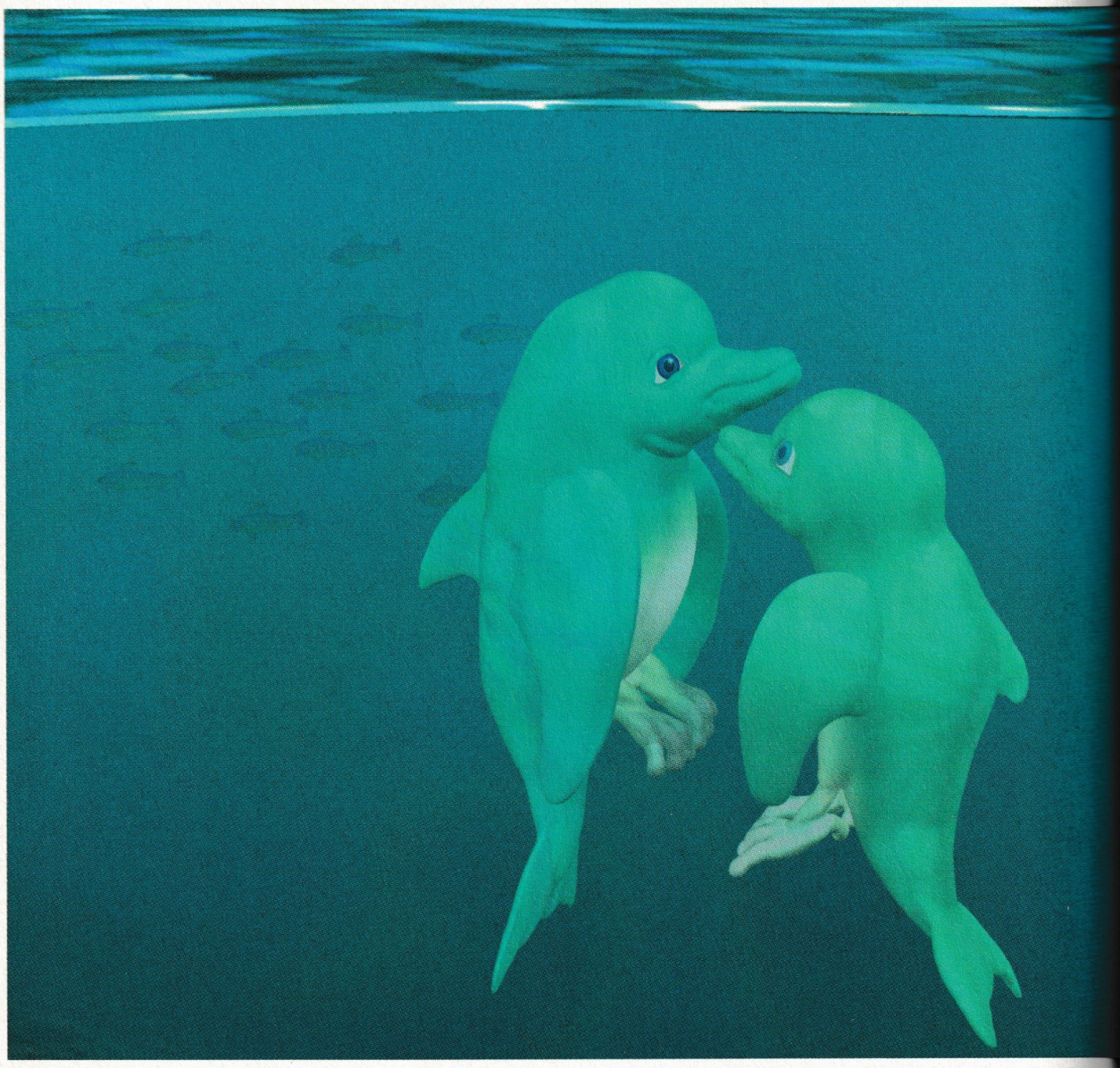
スミレに似た白い花をつける。神秘的な雰囲気を持った植物で、2月にだけしか花をつけない。判明していない部分も多く、今後の調査が待たれる。



ペルナロータス
Perna Lotus Flower

鮮やかな桃色が特徴。朝にメロディとともに開花して、しばらくした後に、また花びらを閉じてしまう。5月の下旬から8月の下旬にかけて、水際に咲く。

Welcome To Planet TEO



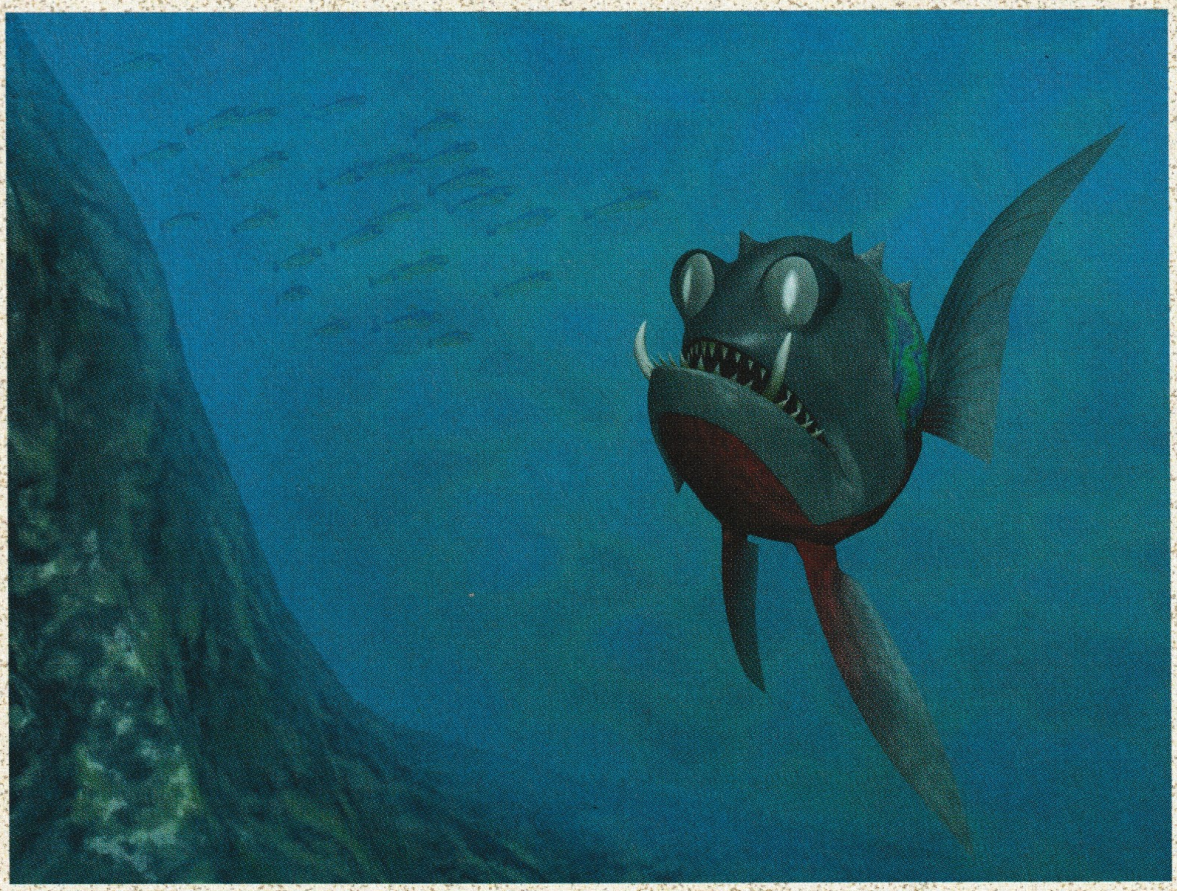
レム川のほとりで仲良く泳ぐ2頭のフィンフィン。友だちか？　親子か？　それとも恋人同士だろうか？　大人になったフィンフィンの縄張りは広く、その範囲内に別のフィンフィンがやってくることは珍しい。



レム川のほとり

ペルナ地区北西に位置するレム川のほとりは、
レム川本流と支流が合流する魚の宝庫。
フィンフィンをはじめ、他のTEOアニマルも
美味しい魚を求めてやってくる
ちょっぴり危険な場所。
水面だけでなく、フィンフィンが水中で
泳ぐ様子をかく即できる唯一のポイントだ。

Animal



ダンテ

Dante Fish

気が荒く、どう猛な肉食魚。白く光る目、血のように赤い腹を持つ。鳴き声ではないが、「グーングーン」という低い音をたてて接近してくる。フィンフィンの天敵のひとつ。



カニムシ

Snippy

鮮やかな朱色をした、カニに似た生き物。体長は15cmほどで、大きなハサミを持つ。たまにカチカチと音をたてながら、岩場を歩いている。

Welcome To Planet TEO



エルモの谷の住人、エリマキガエルとフィンフィンのツーショット。ひとしきり遊んだ後だろうか。お花畑の真ん中で、日向ぼっこをしているようだ。丸い目玉のエリマキガエルは、どことなくユーモラスである。



エルモの谷

ペルナ地区南東に位置する谷。
フィンフィンの遊び場でもあり、
ペルナ地区では野生の「エルモの実」が
実っている唯一の場所。
熟して落ちたエルモの実を食べたせいで、
ここにいるTEOアニマルはノリがよく、
拍をとると、踊りを見せてくれることで有名。



アモール

Snuffy

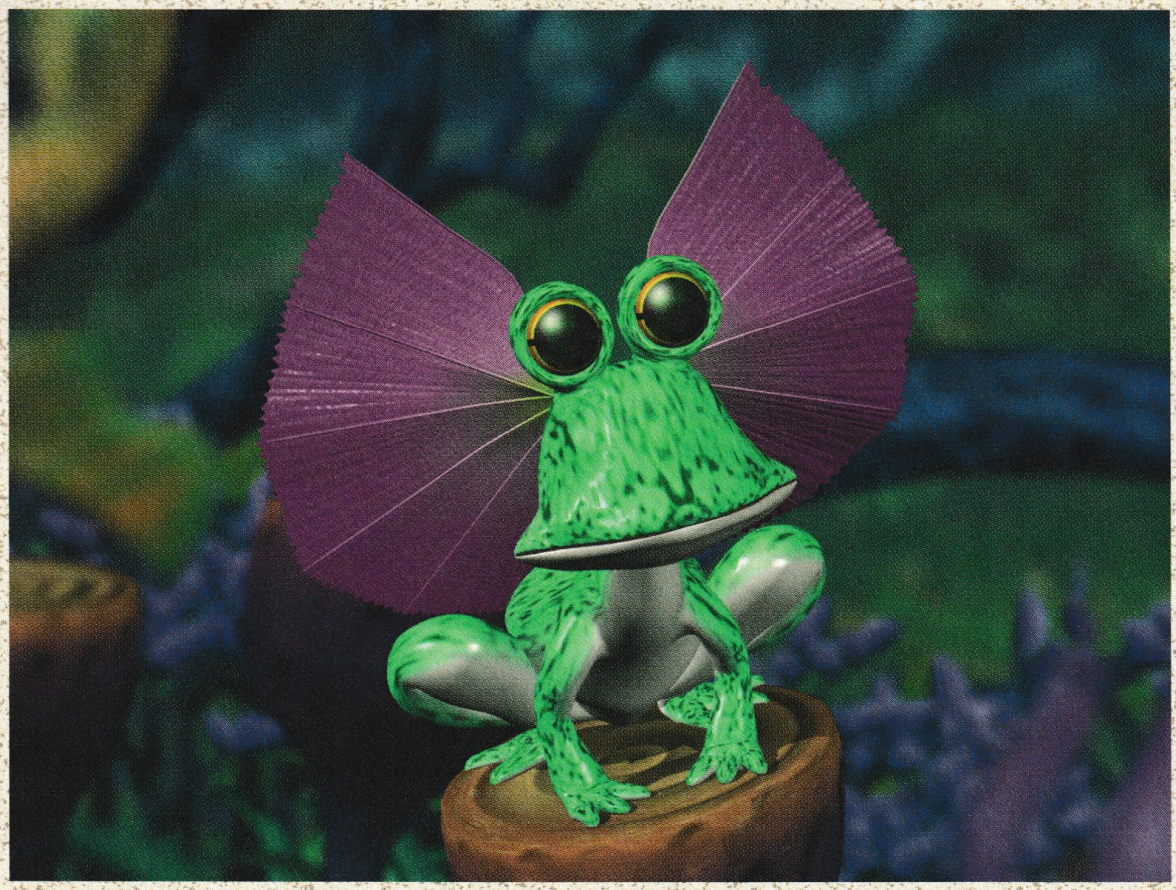
顔つきはゾウに似ているが、実はモグラの仲間。体長は40～50cmほどで、顔に似合わずゴツイ足を持っている。性格は陽気で、しばしば愛敬あるしぐさを見せてくれる。



ジャンピー

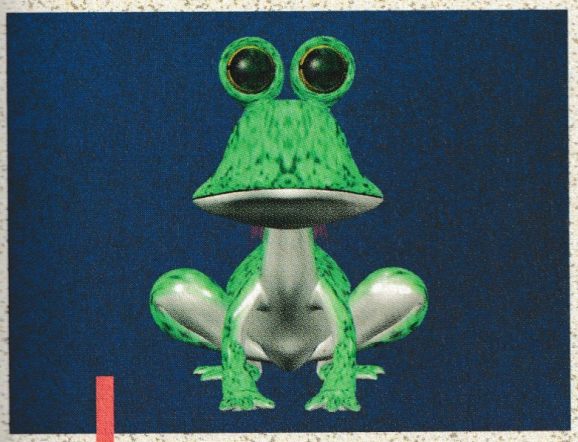
Pogo Squirrel

体長15~20cmほどの、すばしっこい生き物。前肢に大きな皮膜を持っていて、ムササビのように木から木へ飛び移る。体色は薄茶、濃茶、サンドイエローなどさまざま。



エリマキガエル
Eri Frog

体長は10～20cmあり、小雨やくもりの午後によくみかけることができる。通常、エリはたたんであるが、エリを広げて飛び上がると体は倍の大きさになる。鳴くときも、大きなエリを広げる。



正面

エリを閉じると、地球にいるカエルそっくりに見える。一文字に閉じた口と、クリっとした目に愛らしさがある。



側面

かなりの大きさの口で、カエルの鳴き声のような「グワッ、グワッ」という大きな声を出す。



この動物を立たせてみると、手が短く、足がとても長くなっていることがわかる。まさに、跳躍力がありそうな足だ。



紫色の美しいエリを持つ。名前からしても、エリマキトカゲと、カエルの2つの性質を持った生物だということが予想できる。

エルモの谷

Animal



ポピロ
Popilo

大きな目と耳が特徴的な、体長40~50cmほどの動物。エルモの実が大好物で、性質はとても臆病。たまに実を食べにやって来るが、少しの物音でも逃げてしまう。



ピョンキー
Banana Deer

ヘビとシカを合わせたような、ホッソリとした姿をしている。体長は1~1.5mほどで、動きはとても軽やか。頭の長い触覚で、周りの状況をいつもうかがっている。

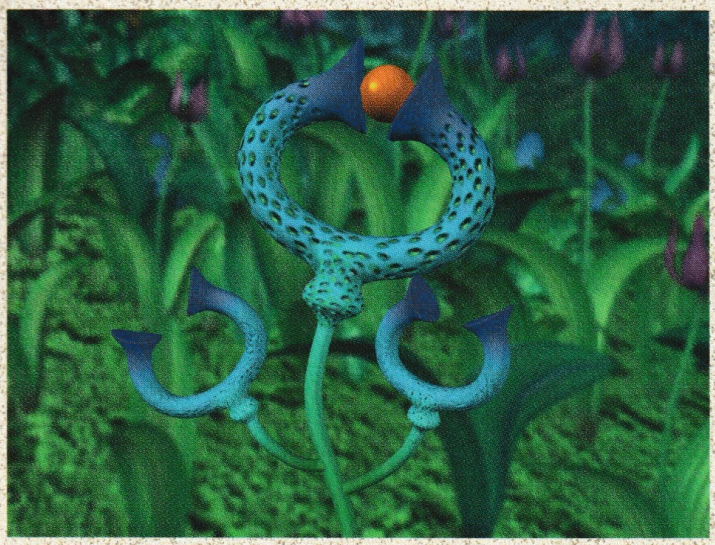


リズム蛍
Firefly

メタルシルバーの色をした顔に、赤い目が特徴的。オスとメスでは、頭の形が違っている。日没後に、尾の先にある電球のような部分を発光させて、白い群れでふわふわと飛ぶ。

エルモの谷

Plant



パピンポン
Pong Plant

3月上旬から5月下旬にかけて咲く水色の花。手のような花びらで、オレンジ色の玉を大切そうにかかえている。このピンポン玉のようなものが種子なのかも知れない。大きさは20cm程度。



飛玉
Pop Ball

春は青、夏は赤、冬は紫と玉の色が様々に変化する花。大きさは12cm程度で、たまに音に合わせてけん玉遊びをする。開花時期は5月中旬～8月下旬、11月上旬～1月中旬と2シーズンある。



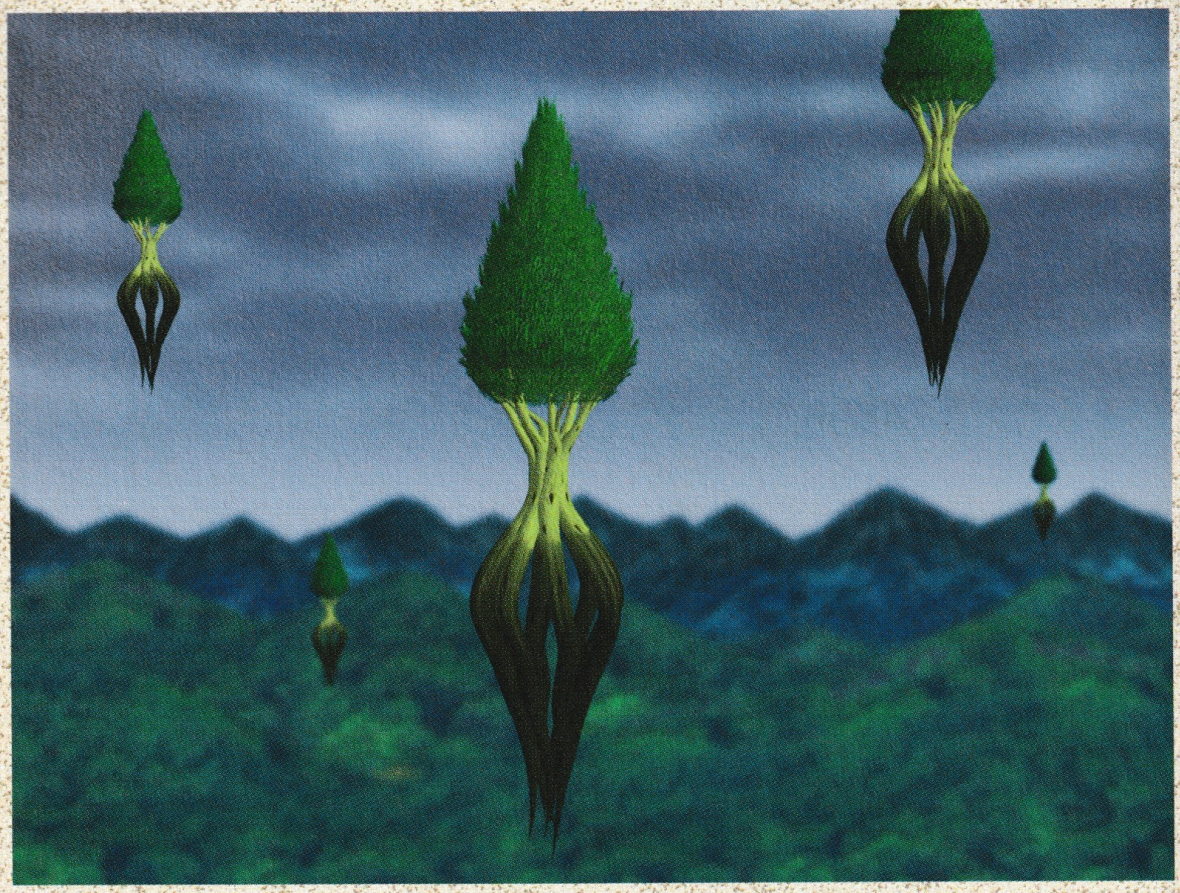
バグハウス
Bug House

13cmほどの小さな植物で、壺のような花は虫たちの「おうち」になっている。外が騒がしくなると、虫たちが姿を見せることも。8月中旬から3月下旬まで咲き、紫・青・黄・赤と徐々に色が変わる。



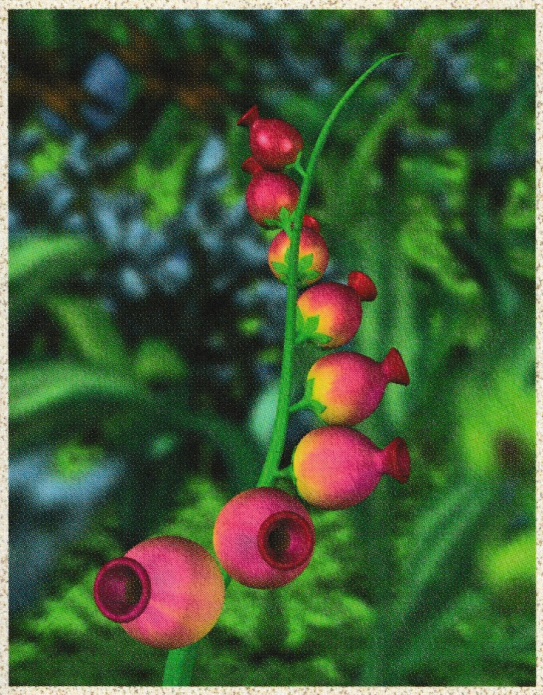
小つゆ
Yellow Rain Blossom

9月下旬から2月上旬に咲く黄色い花。仲のいい姉妹のように、いつも5つの花がひと組で咲く。大きさ7~8cmほどのかわいらしい花で、「つゆ紫」や「つゆ桃」とは仲間。



スカイパイン
Skypine

満月をはさんだ5日間、空中をフワフワと浮遊する不思議な植物。根、葉とも2.5mとかなり大きいため、フィンフィンはちょっぴり苦手。雨が降る前は一斉に地上に落ちてくるので、天気予報にもなる。



カップツリー
Cup Tree

20～30cmほどの大きさで、地球のスズランに似た植物。4月上旬から6月下旬にかけ、ローズピンクの美しい花をつける。カップを並べたような花の中には、金色の花粉がたくさん詰まっている。



スパイラル
Slinky

自分の意志で自由に動くことができる根なし草。動きはバネのようで、音をさせると体をくねらせるようにして現れる。1年中見られるが、季節によって微妙に色を変える。

エルモの谷

Plant



つゆ桃

Peach Rain Blossom

2月上旬から4月下旬にかけて、房のような花を咲かせる。桃色の可憐な花で、エルモの木の緑によく映える。「つゆ紫」の仲間だが、大きさは20~35cmと、こちらの方がやや小さい。



つゆ紫

Purple Rain Blossom

20~40cmほどの比較的大きな花。6月上旬から8月下旬にかけて、紫色の房のような花びらをいくつもつける。秋に咲く「小つゆ」や、冬に現れる「つゆ桃」とは同じ種類だ。



輪廻草
Pinwheel Flower

8月中旬～9月中旬、ちょうどお盆のころに咲く花。つぼみのころはジッと身を固くしているが、一度開花すると目にも止まらぬ早さで回り出す。花びらの色は赤とピンクで、大きさは20～24cmほど。



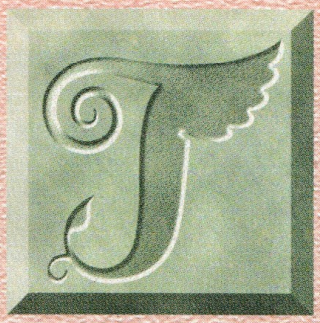
おたいこちゃん
Flying Taiko

20cmほどの空飛ぶ万年草。花はまるで太鼓のようで、さまざまに色を変えながら左右のバチでトントンと音をさせる。冬と夏の終わりには、空中をフワフワと飛ぶこともある。オハナチャンと仲良し。

Welcome To Planet TEO



フィンフィン家族が住んでいる巣。赤ちゃんがいる間、奥さんはエサを捕りにいく以外はあまり巣を離れない。赤ちゃんを狙うギラーミンやカゴカツギ、毒を持つエルモドキなどの危険に溢れているからだ……。



いこいの巣

ペルナ地区北東に位置する

TEOアニマルのエサ場、レム川のほとり。

その川辺から東へ向かうと、フィンフィン家族

の巣を見つけられる。巣は、うっそうと

繁る草木の中に隠すように作ってある。

フィンフィンの奥さんは、

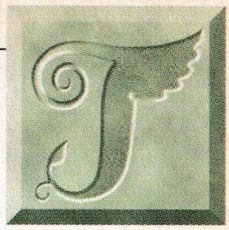
そこで１回につき１つだけ卵を生むのだ。



ギラーミン

Orcadactyl

フィンフィンの赤ちゃんや卵を狙う凶暴な肉食獣。地球のシャチに似た生物から進化したらしい。翼を広げたときの体長は1.5mほどで、押し殺したような声をあげて現れる。

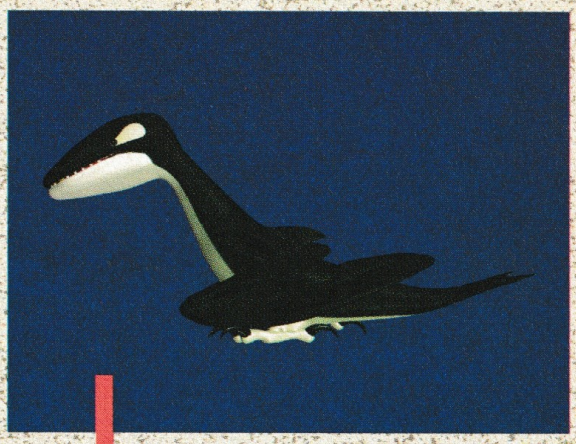




体長は翼を広げたときの大きさで約1.5mもあるので、かなりの迫力を持つ。黒と白のコントラストなので、まるでシャチが空を飛んでいるようにも見える。



鋭い牙を持ち、その歯でフィンフィンの赤ちゃんを食べてしまう。この動物が現れたら赤ちゃんからは、目を離さないように注意をしておいたほうがいい。



側面

白いフチの中にポツンとある小さな目。この小さいが鋭い目つきで赤ちゃんたちをつけ狙っているのだ。

Animal



かごかつぎ

Basket Carrier

枯木にカゴをのせたような生き物で、体の色は茶色。ガチャガチャと音をたてながら現れ、生まれたての赤ちゃんや卵をさらっていく。大きさは30cm程度と、決して大きな動物ではない。



しろおっぱ

White Oppa

秋から春にかけて現れるネズミに似た動物。シッポの先に葉っぱのような傘を持っていて、フワフワと宙に浮くこともできる。体長は10～15cm（シッポは除く）ほどで、白と緑の体が特徴的。



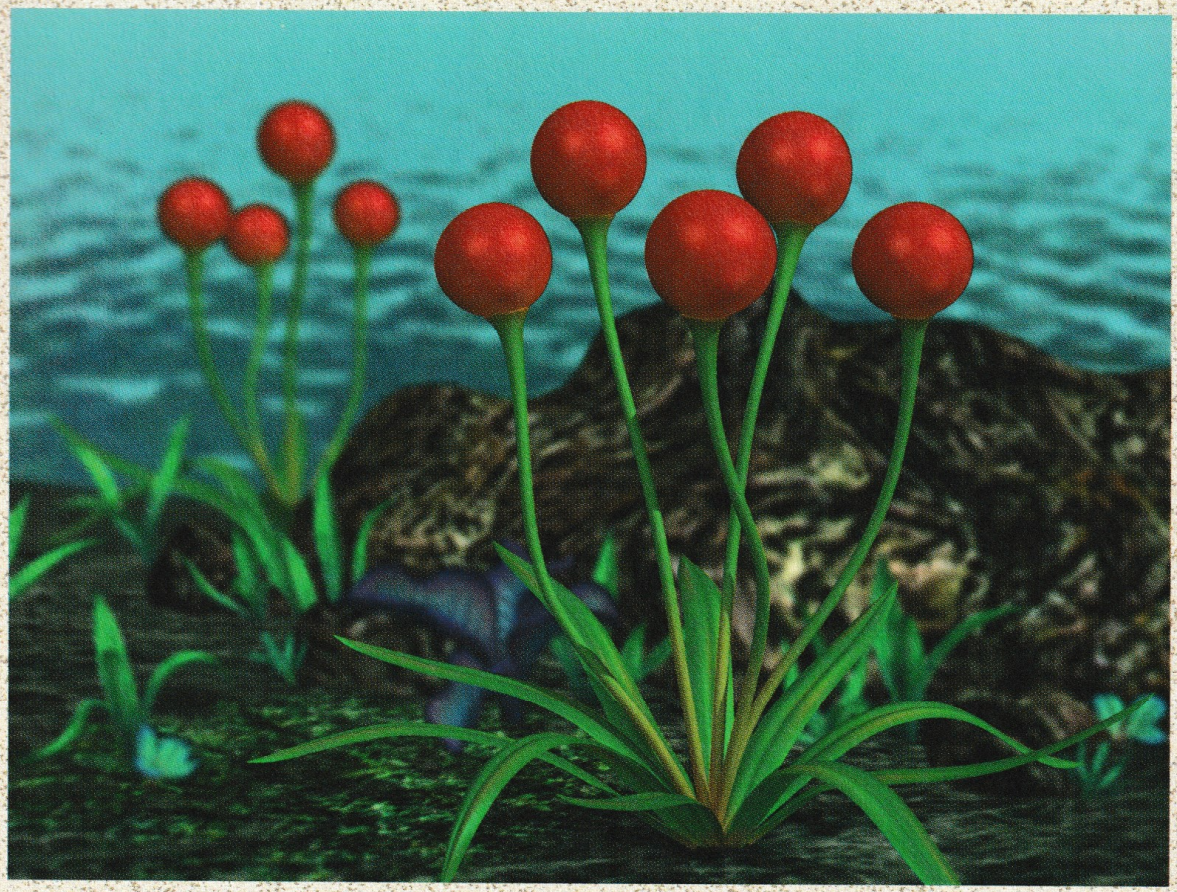
ブルーアイ
Blue Eye

ウサギとカンガルーを合わせたような動物で、天気がいい日によく姿を見せる。体色は白と薄茶で、大きさは約30cm。せっかちな性質で、泉のまわりを忙しそうに走っていく。



プートン
Pokari

30cmほどの小さな馬のような生き物。「ボエボエ」と鳴きながら、泉のほとりをトコトコと歩いている姿がよく見られる。ビックリするとフグのように体をふくらませ、飛んでいってしまう。



エルモドキ
Lemodoki

フィンフィンの大好物・エルモの実に似ているが、こちらは猛毒。季節によって赤、ピンク、黄、緑など、さまざまに色を変える。大きさは25cmほどで、1年中実をつけている。



すだちの花
Symbol Flower

紫と白の花びらを持つ花で、開花すると夜に美しく輝く。まるで赤ちゃんの成長を見守っているような花で、そのためこの名がついた。大きさは7～20cmほどで、1年中見ることができる。



いちえいちご
Sound Strawberry

地球のイチゴのような花を咲かせる。花びらの色は普段はブルーだが、物音に反応してパッと色を変える不思議な植物。高さは20cm前後で、1年中その可憐な姿を見せてくれる。

いこいの巣
Plant



アンスホワイト
Ann's White

3月上旬から5月下旬にかけて咲く紫色の花。ひみつの入江に咲く花・ホワイトシークレットとよく似ているので、同じ種類ではないかともいわれている。大きさは30cmくらい。



すきのこ
Moving Mushroom

フィンフィンの赤ちゃんが成長している間だけ、巣の上に現れる移動植物。赤ちゃんが巣の中にいるかどうかの目安になる。オレンジ、または緑色で、巣がなくなると姿を消す。



イワバコスモス

Rock Cosmos

8月中旬から11月下旬まで、泉のまわりの岩場に群生する花。地球のコスモスに似ていて、色は白と桃色の2種類がある。夏は葉ばかりが茂るが、秋には2.5cmほどのかわいらしい花をつける。

各ポイント

出現アニマル&プラント一覧

右の索引で登場する生物たちを確認できる。1ポイントごとに生物たちを名前の順で紹介。（ ）で閉じてある生物たちは、どこかのポイントですでに登場しているぞ。

アミルの森	
オハナチャン	P.23
カゼドリ	P.18
ギザギザ	P.19
シェルビートル	P.18
シュルル	P.21
シンゴウムシ	P.23
ハワチ	P.22
パタパタ	P.19
ヒラリン	P.20
ポムポム	P.22
月光草	P.24
結晶花	P.24
小鈴草	P.25
巻き貝草	P.25
水溜草	P.25

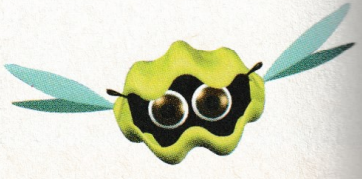
ツブの林	
ヴェイル	P.31
ギッタン	P.32-33
クリッピー	P.33
チチネコ	P.34
トビクラゲ	P.35
バトフライ	P.31
ペカ・フィッシュ	P.32
ペクツリ	P.30
石の花	P.38
華蝶蘭	P.36
薬玉	P.37
サンバ草	P.40
手まねき草	P.40
白鳥草	P.36
春むらさき	P.37
ひかりたけ	P.41
星くず草	P.39
まばたき草	P.39
ものいい草	P.41

ひみつの入江	
エッシー	P.49
ガブリトラス	P.48
チョウチンガエル	P.47
（トビクラゲ）	P.35
ノムサ	P.46
ハートリ	P.44-45
ピケノ	P.47
（ペカ・フィッシュ）	P.32
（ペクツリ）	P.30
（ポムポム）	P.22
王子草	P.50
ベルナロータス	P.51
ホワイトシークレット	P.51

レム川のほとり	
（ヴェイル）	P.31
エッシー	P.49
カニムシ	P.55
（クリッピー）	P.33
ダンテ	P.54
チチネコ	P.34

エルモの谷	
アモール	P.58
エリマキガエル	P.60-61
オハナチャン	P.23
ジャンピー	P.59
（パタパタ）	P.19
ピョンキー	P.63
ポピロ	P.62
リズム蛍	P.63
おたいこちゃん	P.69
カップツリー	P.67
小つゆ	P.65
スカイパイン	P.66
スパイラル	P.67
飛玉	P.64
つゆ紫	P.68
つゆ桃	P.68
バグハウス	P.65
パピンポン	P.64
輪廻草	P.69

いこいの巣	
かごかつぎ	P.74
ギラーミン	P.72-73
しろおっぱ	P.74
（シンゴウムシ）	P.23
（ハワチ）	P22
（ヒラリン）	P.20
プートン	P.75
ブルーアイ	P.75
（ポムポム）	P.22
アンスホワイト	P.78
（石の花）	P.38
いちえいちご	P.77
イワバコスモス	P.79
エルモドキ	P.76
すきのこ	P.78
すだちの花	P.77



『TEO―もうひとつの地球―』
データファイル

TEO-The Other Earth-Data File

長期にわたったTEOプロジェクト。
「TEO」の長い歴史を一緒に追ってみたい。
しかも、線画や開発スタッフへのインタビューなど、
ここでしかみれない貴重な情報が満載となっている。

TEO STAFF INTERVIEW

開発者に聞く！
『TEO』スタッフインタビュー

る人ぞ知る名作ソフト『TEO―もうひとつの地球―』シリーズの魅力とは？
『追加ポイントⅢ・いこいの巣』の制作を終えた開発スタッフに聞く。



MACOTO TEZKA

●総合プロデューサー
手塚　眞

PROFILE

1961年東京都生まれ。高校時代から8mm映画制作し、85年には『星くず兄弟の伝説』を監督。以後、ヴィジュアリストとして活躍。本作では企画からプロモーションに至るまで、『TEO』全般のプロデュースを担当。

そして『TEO』は生まれた

――『TEO』のプロジェクトに参加された経緯をお聞かせください。

手塚：十数年前、日本初のコンピュータ・グラフィックスを制作するプロダクション「トーヨーリンクス」が設立された時、映像関係者が大勢集まったんですね。そこで、当時CG作製用ソフトを開発していた大村先生と知り合ったのがキッカケです。先生はその後、富士通の「人工生物プロジェクト」の顧問になったのですが、その研究チームが開発したソフトを商品化する話が持ちあがった時に、大村先生が「それなら、具体的なことを手塚さんに相談したらいい」と推薦があったんです。最初の半年間はアドバイザーで、プロジェクト全体をプロデュースするようになったのは6年前ぐらいですね。

――『TEO』の母体となってた人工生命は、どういったものでしたか。

手塚：僕が最初に見せてもらったのは「シャ

手塚　眞



ルロット」という人工生命で、シンプルなCGで表現されたものでした。

――まずシステムがあって、それから世界観等を設定した訳ですね。そうしたアイディア群は、どのように形にしていったのですか。

手塚：まずシナリオを作る前に、研究チームの技術者と数カ月間ディスカッションをしました。僕は技術者じゃないのでアイディアのどこまでが実現可能なのかわからない。ですから、常に複数の選択肢を用意して技術者たちと意見交換を重ねていった訳です。

技術的にネックだったのは、パソコン上でCGの表現はどこまで可能か……ということでした。グラフィックを具体的にどう見せ、見せ方をどうするのかを細部まで決め込むのが難しかったですね。生物としての存在感を表現するために、技術者と一緒に水族館へ通ったりもしました(笑)。

惑星TEOとフィンフィンの謎

――フィンフィンのイメージは、開発当初からかなり明確にあったのですか？

手塚：はい。とにかくフィンフィンを可愛くするというのは、開発当初からありました。ただし「可愛らしさ」や「美しさ」は数値に変換できないのでCG化が難しい。そこでプロの人形師さんに、僕のデザイン画を元にしたフィンフィン像を何体か作ってもらって、その中から一番可愛いヤツをデザインのヒナ型に選びました。

――鳴き声なんかも、非常に音楽的ですね。

手塚：かなりこだわりましたね。聞き比べないとわかりませんが、実は同じ歌でも季節や時間帯によって微妙にメロディが違うんです。自然が持つ多用性というか、一見同じだけど常に微妙な変化がある……その辺が長い間、19カ国以上の人々に親しまれている理由じゃないでしょうか。

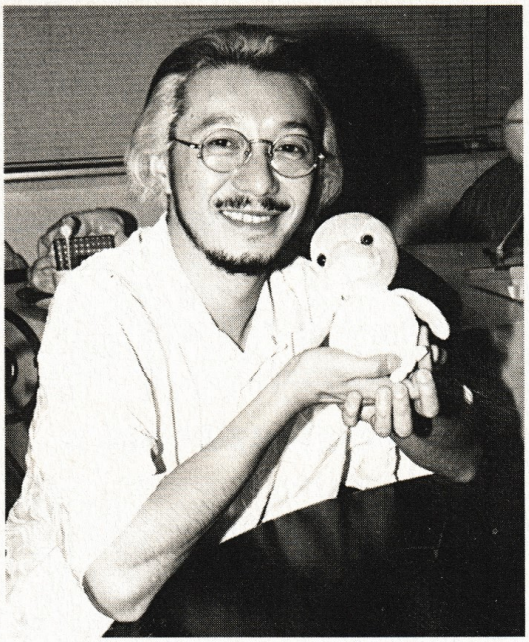
――フィンフィン以外にも約80種近い生物が生息しているそうですが？

手塚：7割ぐらいは、僕がアイディア・スケッチを描きましたね。途中からは、監督の池野さんたちも作ったりしています。

MACOTO TEZKA

TEO

The Other Earth



――発想的には、海洋生物が空を飛んでいる感じですね。ところで人類は……!?

手塚：ええ。惑星TEOは地球に酷似しています。しかし、わずかな条件の違いのためにTEOの生態系は地球と微妙に異なる進化をたどっているんです。だから、カメラに映らないだけで人類がいるかもしれない。実はTEOの星座を調べると、その辺の謎が解けるようになっています。

――「TEO」と「フィンフィン」の名前の由来を教えてください。

手塚：ギリシャ語やスペイン語の中には似た音の言葉がありますが、「TEO」は僕の造語です。特に意味はありません。

――純粋に音感だけで選んだのでしょうか？

手塚：そうです。僕は、自分のイニシャルを創作した世界や星の名前につけることが多いんです。この作品の場合も、まず「T」から始まる言葉から発想してみようというのはありましたね。「フィンフィン」の場合、開発当初は「フィンク」という名前だったんです。しかし海外での発売が決まってから、アメリカのある時代の俗語で「イヤな奴」を意味することがわかったんですね。僕ら開発スタッフは「フィンク」という名前を気に入っていたんですけど、海外で発売するのなら名前を変えましょうということになりまして。3カ月ぐらいアメリカのエージェントと開発スタッフの間で話し合って、アメリカ側から「フィン」という名前はどうかと提案があった訳です。ただ日本語だと言いにくいので、ふたつ重ねてみたんですね。「ドルフィン」と「フィンチ」という種類の鳥の名前からとりました。

世界観の設定では、昔NASAの火星探査衛星「バイキング」から送られた映像を観たときの驚きが影響していたりもします。当時、その映像に生物が映っているというデマが流れたりしたんですね(笑)。そのシチュエーションは面白いなと。遠い星からきた映像に――…という発想は世界観設定の根本になっています。だから、カメラもあえて固定しちゃってる訳です。

――なるほど。地球から惑星TEOに探査衛星が送り込まれている訳ですね。

手塚：そうなんですけど、その辺の詳しい設定はわざと不明確にしてあるんです。実は、壮大な物語が背景にあったりするんですが、

伏せてあるんですね。

その辺を書いた幻の大長編小説があるんですね。あまり長いので単行本化していませんが、これは現在インターネットで読むことができます。興味がある方はどうぞ。

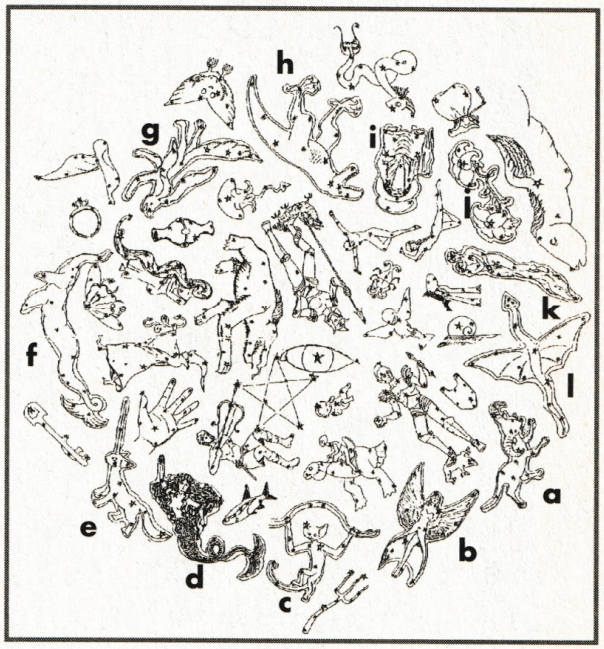
『TEO』シリーズ今後の展開

――惑星TEOに秘められた謎は少しずつ明かされていくのでしょうか？　今後の予定を教えて下さい。

手塚：ゲーム以外にも、小説化やアニメ化することで明かしていきたいと思っています。

――ありがとうございました。

■惑星TEO北天星座図



惑星「TEO」の北の夜空に輝く不思議な星座たち。それは「TEO」に人類がいる証拠なのだろうか？ここでは「TEO」の12星座ともいえる、謎を解くうえでもっとも重要な星座を紹介する。

【惑星TEOの代表的な星座】

a鼠座　**b**鳥人座　**c**猿座　**d**人魚座　**e**猫座　**f**象座
g犬座　**h**竜座　**i**老人座　**j**花座　**k**恋人座　**l**蛇座



TEOスタッフインタビュー

池野 美紀



MIKI IKENO

●タイトル・CGディレクター

池野 美紀

PROFILE

兵庫県神戸市生まれ。CGアーティストとして幅広く活躍。本作ではフィンフィン・TEOアニマル&プラント・背景など、タイトル部分のすべての演出を担当。

フィンフィンと人の交流が生みだすもの

――『TEO』が開発された理由と、そのコンセプトを教えてください。

村上：僕らはヒューマンインターフェースの研究の一環として、1989年より人工生命に関する研究をやっています。その目的は、「人がコンピュータを使うのではなく、人とコンピュータがつきあう」ことを実現する、新しいヒューマンインターフェースの開発です。そのためには、人がコンピュータとより親密につきあえる生き物のようなコンピュータにする必要がありました。これが『TEO』の仕事をすることになった、いちばんの動機です。

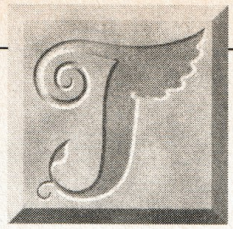
――なるほど。では、コンセプトは？

村上：僕は、よく「『TEO』は、どのジャンルのソフトなのか？」と質問されます。

『TEO』はスクリーンセーバにも似ています。シミュレーションにも似ています。最近流行っているようなバーチャル空間でペットを飼う……というような育成ゲームにも似ています。しかし『TEO』は、それらのソフトとは明らかに違います。『TEO』には、独立した生きた世界・惑星「TEO」という世界があります。独自の時間の流れがあり、ユーザーが物理的に干渉でせきない世界です。そこで生きる生き物は、自由で自律性を持っています。自分の意志で行動し、その生き物なりの方法でユーザーとコミュニケーションをします。

おそらく「『TEO』とは、何か？」という質問への、もっとも適切な答えは「架空の世界と、そこに住む生き物とコミュニケーションできるソフト」というものでしょう。僕は、人間という生き物は、コミュニケーションを求めているのだと思います。その欲求を満足させることが『TEO』の狙いであり、コンセプトです。

惑星TEOはこうして創られた



インタビュー

KOICHI MURAKAMI



●ソフト開発
村上 公一

PROFILE

1954年北海道札幌市生まれ。富士通㈱電脳メディア開発部長。89年よりヒューマンインターフェイスの研究の一環として、人工生物を研究。本作では、パソコン上で人工生命体を動かす技術の研究・開発を担当。

――フィンフィンを「生き物」にするために、グラフィック面では、どんなアプローチをしていますか？　生き物のコンピュータグラフィックが完成するまでの経緯を教えてください。

池野：まず手塚さんが作ったイメージやコンテを元に、データ化(CG)します。その後イメージとデータに違いはないか、何回か手塚さんのチェックをもらっています。最近のソフトでは、開発スタッフのデザインやアイディアも採用しています。

――デザイン画をコンピュータグララフィック化するのに、いちばん難しかった生き物は何ですか？

池野：やはりフィンフィンですね。生き物ですから、飛んだり、歩いたり、泳いだりできないといけません。しかも、可愛いいけれども野生の生き物らしく見せなければならなかったので。アニメのキャラクターのようなオーバーアクションをしない、自然な動きを心がけました。

――TEOアニマルの動きは、どのように決めるのでしょうか？

池野：フィンフィンと同じように、TEOアニマルの振る舞い(演出)は、ソフト全体のバランスがあるので、だいたい私が考えています。惑星「TEO」の地域(注：惑星「TEO」は、いくつかの地域にわけられる)ごとの、フィンフィンの行動を設定します。そして、ようやくTEOアニマルの行動をどうするか決める訳です。ケースによっては、行動に関するアイディアを活かすために、モデルの方を変更することがあります。

――特にフィンフィンは、表情が豊かですね。その秘密は何でしょうか？

池野：動く部分は、すべて総動員という感じです。身体の動き、目の表情、口の開け方など、感情の表現ができるところはすべて動かせるようにしてあります。

村上 公一

TEO STAFF INTERVIEW

TEOスタッフインタビュー



池野 美紀

赤ちゃんフィンフィンの上手な育て方

――そういえばフィンフィンは、熟したエルモの実を食べると、酔っちゃうそうですね。

池野：そうです。酔うと、身体の色が明るくなって、お腹の部分だけうっすら赤くなります。上機嫌でアクロバット飛行をしたりして、ちょっとオヤジっぽくなります(笑)。

村上：これは、手塚さんのアイディアなんです。娯楽的要素を持つソフトですから、リアルさを追求しすぎてもいけない訳です。彼は映画監督でもありますから、映画的観点から見た「遊び」という部分も大切にしています。『TEO』の場合、フィンフィンの「酔っぱらい」という動作が「遊び」の部分なのです。その結果、さらに作品として奥行きが出たんじゃないかと思います。

池野：フィンフィンの動作に、「酔っぱらい」という項目を加えたために、あとあと困ったことがおこるんですけれどもね(笑)。酔っぱらっているときに、笛で呼ばれたらどういう行動をとるか……なんて。

――それは、ちょっと見物でしょうね(笑)。他に、背景で苦労した部分はありますか？

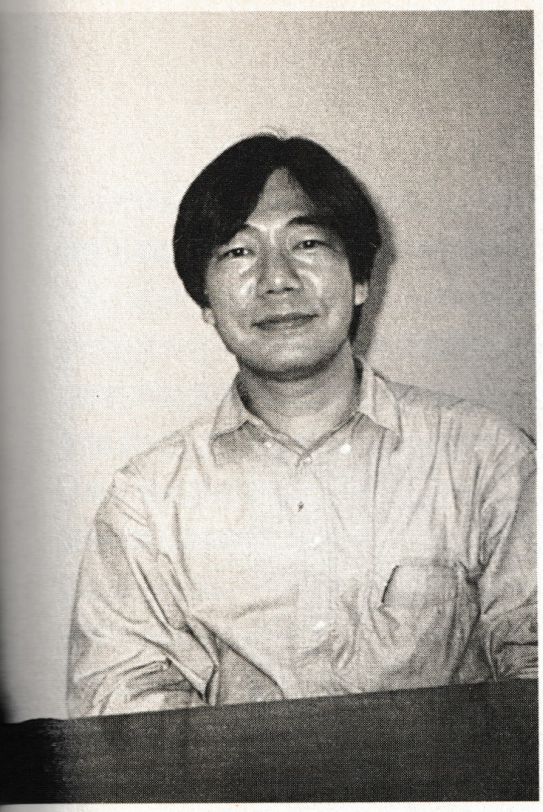
池野：雲ですね(笑)。

村上：自然は、いつも同じように見えて、実は微妙に変化しています。ですから惑星TEOの雲も、少しずつ常に変化している訳です。太陽が見える角度は、落日の時間は季節によって変化します。その全ケースを考慮して、雲に光が当たる角度まで計算しましたね(笑)。

――最新追加ポイント『いこいの巣』では、コンタクティ(＝ユーザー)が、フィンフィン夫妻の子育てを手伝えますね。巣の周囲には、赤ちゃんの命を脅かす危険が溢れているわけですが……。無事、赤ちゃんを巣立たせるためのコツを教えてください。

池野：巣の近くには、フィンフィンの天敵や赤ちゃんをさらう生き物がいるだけではありません。フィンフィンの大好物・エルモの実

MIKI IKENO



村上 公一

TEO開発メインスタッフ ひとこと紹介

Koichi Omura

●テクニカル・アドバイザー

大村 皓一

PROFILE

技術顧問として、プロジェクト全般を支える。大阪大学工学部教授を経て、現在宝塚造形芸術大学教授。1982年、CGシステム「LINKS-1」発表。筑波万博富士通パビリオンCGテクニカルディレクター。

Koji Masui

●タイトル・ディレクター

増井 公二

PROFILE

人工生物・フィンフィンに最初の「心」を与えた。手塚眞監督『星くずの兄弟の伝説』にて助監督を務め、TEOプロジェクト発足当時から『TEO』の世界とフィンフィン、TEOアニマルの演出を担当。

に似たエルモドキという植物も生えています。まず、赤ちゃんが歩きだしたら要注意です。巣の周囲にあるエルモドキの前で振り返って、約5秒くらい立ち止まり、何かやっている様子だったら、実をなめるかもしれないです。

もし赤ちゃんがそんな様子をみせたら、急いでスペースキーを押して、赤ちゃんに危険を知らせてください。TEOアンテナを接続している場合は、「なめちゃダメ！」と大きな声で教えてあげてください。そうすれば、赤ちゃんも懲ります。

かごかつぎやギラーミンは、そう頻繁に現れる訳ではないので心配しなくてもいいでしょう。その手の危険が近づいたら、フィンフィンの奥さんが赤ちゃんを守りますから。

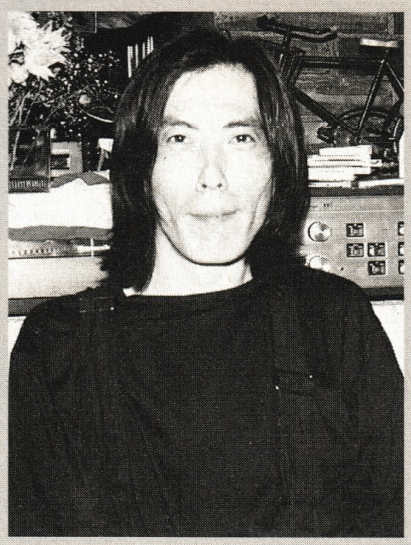
――赤ちゃんは、卵がふ化して何日後ぐらいで巣立つでしょうか？

池野：卵がふ化するのは、満月の日なんです。その頃注意してみれば見れるのではないでしょうか。

――ということは、その辺の時間帯に「いこいの巣」で張り込んでいれば、巣立ちが見れる訳ですね。今日はどうもありがとうございました。

KOICHI MURAKAMI

TEOスタッフインタビュー



CHUJI AKAGI

●音響制作

赤城 忠治

PROFILE

ミュージシャンとして幅広く活躍。本作ではオープニングタイトルの音楽から、フィンフィンの声、効果音に至るまで、『TEO』の世界のすべての音響を担当。

その壮大なコンセプトに、どのような完成形を想像していいかわからなかった

――このプロジェクトに参加したきっかけは？

赤城：手塚さんが監督した「星くず兄弟の伝説」という映画のサントラを手掛けたのがきっかけで、10年後に吉祥寺のライブで再会しました。その後、色々な仕事をやらせていただき、ある日、ＴＥＯの構想を聞き、やってみないかということで……。正直なところ、その壮大なコンセプトにどのような完成形を想像してよいかわからなかった。

――フィンフィンの声はどうやって作っているのですか？

赤城：人の声とイルカの声をミックスしたものなんです。鳴き声だけならいいんですが、その声で歌もうたうとなると話は別です。手塚さんからＯＫをもらうまで半年かかりました。声が決定してからは、直感的に作業を進められた。送られてきたフィンフィンのＣＧの動きに合わせ鳴き声や羽音を入れていった。音が付けられた時、想像した以上に、そこにはリアルを越えたリアルな世界があったのでビックリしたよ。

無音も立派な音なんだぜ！ってカラスが教えてくれた

――声を作るのに苦労した点はどこですか？

赤城：本業は作曲家なので、まさか自分が音効屋さんの役目まで引き受けることになるとは、夢にも思わなかった。気が付くとよく窓からカラスを見てたよ。たいがいそうだと思うけど、飛んでいるカラスを見る時、羽ばたき音に意識を集中させたりしないだろう？あのギョロッとした目つきや艶のいい頭や、小馬鹿にしたような鳴き声、ぜーんぶでカラスっていう印象を見ているだけなんだ。僕は一部を見て、全部を見てるって思っていただけなんだ。無音も立派な音なんだぜ！ってカ

赤城 忠治

ラスが教えてくれたよ。

ＴＥＯの動物や鳥や虫達は人の声を加工して作ったものが多いんだ。もちろん最新のテクノロジーを使ってね。声は不思議で、膨大な情報量と表現能力を持っているということを発見したような。それは、別な言い方をすれば、人は空を飛べなくても、鳥にだってなれるというところまでつながってゆく気がした。



――苦労したシーンの音楽はどこですか？

赤城：羽ばたき３年、鳴き８年ということわざはないけど、ひと時、僕らスタッフの間ではやってた。感じが出るまで、何度でもやり直したからね。発注書の中には、「30秒で滝が小川に変わる（自然な感じで）」なんて平気で書かれていた時は、腹が立つやら。おさまると絶望的な気持ちになったね。そんな時は外に出かけるしか方法がなかったね。滝を探しに。それでも僕は、惑星ＴＥＯの音の創造者だったから、リアルな音の中でも音楽的なものを選んだり、作り変えたりしたんだ。

100年後にも『TEO』は、バーチャルToy'sの王様になって、みんなに愛されて生きてるような気がする

――『TEO』のソフトについてはどう思われますか？

赤城：ただのリアルな映像やいい音質のものが、必ずしも優れたＣＧソフトだとは思えない。ＴＥＯの世界には刻々と移り変わる時の流れが存在している。仮想現実の世界に時間を入れることで、見るものを知らずにとり込んでいる魔法を持っているよ、ＴＥＯは。

――コンタクティさんにメッセージを

赤城：退屈だと思ったコンタクティー君と、今、フィンフィンにおやすみと言ってスイッチを切ったコンタクティさんへ。君たちは大発見をしたね。心の中にあるＴＥＯは消えないだろう！　僕らは多次元の世界に生きているんだよ。

CHUJI AKAGI



●アートディレクター
奥平 イラ

PROFILE

1956年兵庫姫路市生まれ。79年『ガロ』に作品を発表。以後、マンガ家、イラストレーター、アートディレクターとして活躍。本作のオープニング、ロゴの他、『TEO』全般のアートディレクションを担当。

バンドがふたりをもう一度出会わせた？

――『TEO』開発の経緯と、プロジェクトに参加したきっかけを教えて下さい。

奥平：以前、宝塚の手塚治虫記念館のデータベースソフトの、アートディレクションとCG制作を手掛けていて、それをご覧になっていた眞さんの方から、TEOのアートディレクターにと、お話を伺いました。それと、僕は半分趣味でバンドをやっているのですが、そのバンドで眞さんのイベントに出演した時、すっごく久しぶりにお会いしました。

――手塚さんとお知り合いになったのは？

奥平：僕、20年近く前に「ガロ」という雑誌で漫画家としてデビューしたんですよ。で、ある雑誌の若手のアーティストの座談会で、眞さんと初めてお会いしました。その後、雑誌や広告などのイラストやアートディレクター、90年代には、CG制作やデジタルコンテンツもアートディレクションへと仕事が移行して、TEOの仕事へとつながる訳です。

有機的な要素を取り入れ『TEOらしさ』を表現

――アートディレクターとして実際の作業はどのようなことをやるのですか？

奥平：TEOにおいての僕の役割は、TEOの世界観をどうやったらわかりやすくコンタクティ（ユーザー）に伝えられるか、その為にはどういうイメージ作りをしていったらいいかを考えることです。具体的に僕が制作しているのは、TEOのロゴデザイン、それからソフトの中では、オープニングムービーと、僕らは「TEO盤」と呼んでいるのですが、インストールやコンタクティ登録をする画面。あと、アンテナとホイッスル等のハードデザイン。それにパッケージや広告など、つまり、TEOというソフトを包み込む外側の部分ですね。それを、大体作っています。

――ハードの制作はどのように？

奥平 イラ



奥平：ホイッスルは最初、自分で粘土をこねて型を作りましたが、工場の方で、なかなか、いい曲線が出なくて苦労しました。アンテナの方は、初期盤は単純な半球型だったんですけど、Windows版発売と共に、ＴＥＯっぽいデザインイメージを、盛り込もうということで巻き貝みたいな形に変更したんです。どちらも、ＴＥＯのロゴにつながるような有機的な感じを取り入れてあるんですよ。

――ＴＥＯにはどれくらいの期間関わっていらっしゃいますか？

奥平：最初にミーティングに参加したのが95年の3月ぐらいでしたね。最終的に6ポイントで完結するというのが最初からのコンセプトでした。だから、最近ついに全ポイントが完成して、ＭＡＰ画面に6個石が並んでいるのを見たら、けっこう感動しましたね。ここに来るまで3年半かかったんんだって。

――いちばん最初に作ったものは何ですか？

奥平：まずはＴＥＯのロゴマークでした。プロジェクト全体のイメージを象徴するものですから、いろいろと試行錯誤しました。あのロゴができて決まった時には、それからのイメージコンセプトがパッと見えた気がしましたね。

コンタクティとの世界観の共有が気持ちいい

――ホームページもデザインされてますよね。今後の展開はどうでしょう？

奥平：ＴＥＯのホームページも、進化しているし、すごいボリュームになってきてますね。最初は単なる情報発信だけだったんだけど、どんどんコンタクティの人たちが参加してくれるようになった。みんなでＴＥＯのオーロラを見ながらチャットする「オーロラの会」というのがあって、あれがきっかけになったんじゃないかな。通信のおもしろさだけじゃなく、皆でＴＥＯの世界観を共有しているみたいな感じがして楽しかったですよ。これからも、そんな共有感を軸に、ホームページ上でもＴＥＯの世界を拡げていければなあ、と思っているんです。

――ありがとうございました。



YLA OKUDAIRA

コンタクティインタビュー
コンタクティ訪問！

**惑星TEOにコンタクトした人たち＝コンタクティにインタビュー。
自己流『TEO』の遊び方からファン活動まで、『TEO』の魅力について聞く**

Contactee
るりちゃーん & ゆみこ

毎日専用のフィンフィンとの交流を楽しむ親子コンタクティ。ふたりともフィンフィンが大好きッ！
parents

ファーストコンタクトはぬいぐるみフィンフィン

――"るりちゃーん"さんと"ゆみこ"さんは、いつ頃から『TEO―もうひとつの地球―』を遊びはじめたんですか？　コンタクティになったキッカケと、惑星TEOとのファーストコンタクト時の話を聞かせてください。

ゆみこ：最初たまごっちを買うつもりだったんですが、手に入らなくて。パソコン・ショップへ行ったら、店頭でフィンフィンを見つけたんです。すーごく欲しくなって（笑）。

――フィンフィンとの出会いは、ゆりちゃーんさんよりゆみこさんが先だったんですね。

ゆみこ：そうです。「お年玉をもらったら、たまごっちを買う」いう約束だったのを、こんなにいいものがあるよ！　これなんか、ぬいぐるみ付きだよ!!　と、ゆみちゃんに見せたんですね。いざ買うと決めてショップに行ったら、以前店頭に２箱あったのが１箱になってて。

るりちゃーん：急いで最後の１箱を持って、レジに行ったの。誰かにとられちゃう！　って（笑）。

ゆみこ：だから以前からフィンフィンを知ってて……というんじゃないんです。店頭で見て、かわいいなぁと思ったんですね。ゆいぐ





みがあったしね（笑）。

――『TEO』は、いわゆるシミュレーションゲームとは似て非なるものですね。最初にプレイしたときの印象は、どんな感じでしたか？

ゆみこ：うーん。かなり、くじけたよね。なかなかエルモの実を食べてくれなくて。

るりちゃーん：うん。けっこう、くじけた！

――惑星TEOと通信しはじめて、だいたい何日ぐらいでフィンフィンは慣れてくれましたか。

再びるりちゃーん：１週間ぐらいじゃなかった!?

ゆみこ：そう。あとで富士通さんのホームページを見つけて、グチを書きこみはじめたんです。まだエルモの実を食べてくれないって。

――誰かアドバイスをくれましたか。

ゆみこ：他のコンタクティの方とか、富士通のスタッフの"kurara"さんから返事をもらいました。この子にとっては、インターネットの初体験は『TEO』なんですね。

るりちゃーん：その頃は、まだ早くキーボードを打てなかったから、打ってから回線を接続してたの。最初１本指だったけど、今はこう（と、ブラインドタッチのマネ）。

コンタクティ同士の世代を越えた交流

――ふだんはインターネットや電話で連絡しあったりしてるそうですね。"るりちゃーん"さんは、お友だちは増えましたか？

ゆみこ：そうですね。この子の中では、相手がどんなに年上でも親友ですから（笑）。

るりちゃーん：そう、親友なの。

ゆみこ：コンタクティの方に教わりながら、パソコンの使い方をずいぶん覚えました。ソフトを使って連絡名簿を作ったりとか（笑）。

――それでは、これからコンタクティになる人たちへメッセージをお願いします。

ゆみこ：フィンフィンは末っ子みたいな感じ。親子で同じことをできるのもいいですよね。

るりちゃーん：そう、弟みたい（笑）。

ゆみこ：あと子供に大人の友人ができたのがよかったです。皆さん、対等につきあってくれるんですね。私自身も、うちの子と同年代の友人ができるとは思わなかった(笑)。そういう意味では世界が広がりましたね。

――ありがとうございました。





Welcome to Contactee

Contactee
Fighting-Lizard
& じゅんじゅん

一見性格は正反対だが、実は仲良し……というふたり。『TEO』が縁で知り合ったコンタクティ仲間。
cupples 2

『TEO』を買うに至ったそれぞれの理由

――では、まず『TEO』を知ったキッカケから教えてください。

Fighting-lizard(ファイティング・リザード)：『TEO』を知ったのは、テレビで人工生命に関する番組を見てから。もともと興味がある分野を扱ったソフトだったので買った訳です。

じゅんじゅん：私も深夜番組でデモ画面を紹介しているのを見てからですね。かわいい！と思って、パソコン・ショップで偶然見つけたので買いました。

――みなさん、実はフィンフィンと運命的な出会いをしているんですね(笑)。ところで"Fighting-lizard"さんの人工生命への興味とは、どういったものですか？

Fighting-lizard：食物連鎖の世界をシミュレーションして見られるのかな……と思っていたんですね。遊んでみたら全然違ったので、ビックリしました(笑)。

――でも、現在も遊んでいる訳ですよね？

Fighting-lizard：そう。僕は、パソコンを使いはじめたのと、『TEO』を遊び始めたのが同時なんです。OSをアップグレードするのにメモリを増設したので、何かソフトが欲しくなった。その頃に『TEO』を知った訳です。

――遊んだときの第1印象は？

Fighting-lizard：何をしていいのかわからなかった。とりあえずツブの林で張り込んだんです。そうしたらギッタンが出てきて、みんなで「バシリスクやッ！」と。グリーンバシリスクという、実在のトカゲに似てるんですよ。あとバトフライは、ブッシュベイビーが翼手目に進化したんや……とかね。そのうち両生類が群れを作っていたり、肉食系の形をした魚が草食らしいとか。これはおかしい





と。「学術的にどうなのか、他の人の見解が聞きたい」とホームページに書きこんだら、“ゆりふぃんぱぱ”さんににたしなめられた訳です。生物学とは、そういうものじゃないだろうと。それで見方を改めまして。現在はあるがままに受け入れてます(笑)。

――"じゅんじゅん"さんはどうですか？

じゅんじゅん：フィンフィン一筋です。毎日声をかけて、エルモの実をあげて。すごく早く慣れて、3日ぐらいで実を食べてくれました。あとツブの林へ行って、夜中になっても見入っていたりとか。でも最近バックアップ機能が壊れたせいで、野生に戻ってます(笑)。

平日はインターネットで、休日は「ゆ会」で交流

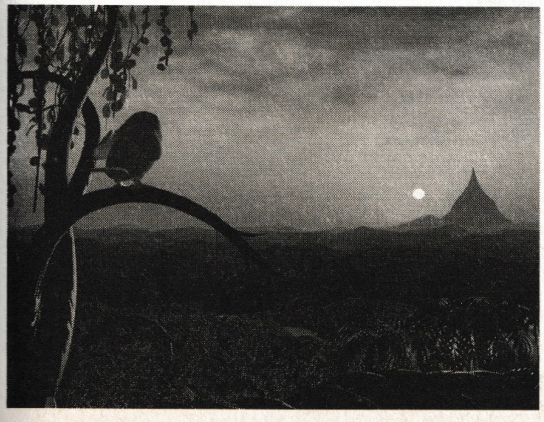
――『TEO』のファン＝コンタクティ間の交流が密だなぁと感じたんですが。

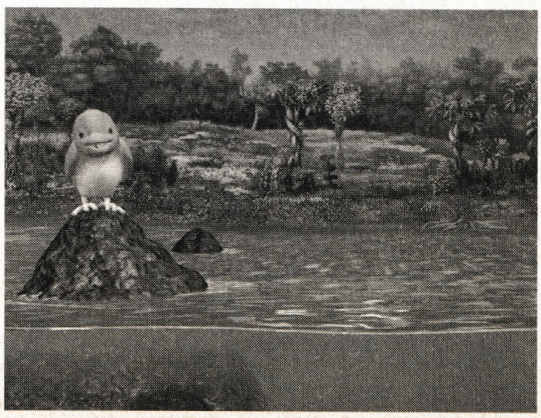
じゅんじゅん：連絡はマメですね。メール送ったり、電話したり。「ゆ会」で初めて会っても、ふだんチャットで話してるから初対面という気がしないんですね。

Fighting-lizard：そう。あと疑問があったら、チャットに入ればすぐ解決しますし。TEOチャットは他のジャンルに比べて解放的だし礼儀正しい。他人のハンドルネームを勝手に省略しないし、必ず「さん」づけです。誹謗中傷もない。付き合っていて気持ちがいいですね。

――ありがとうございました。



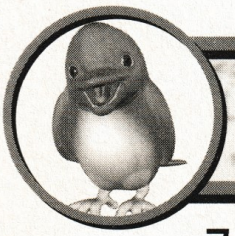




TEO Original Picture EXHIBITION

TEO 線画作品展覧会

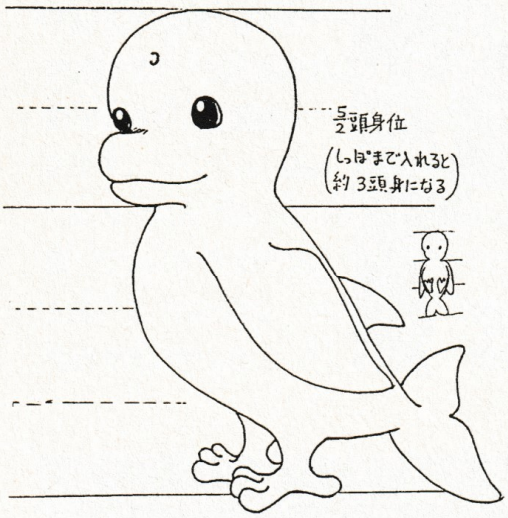
**動物たちの行動を映像にするために、まず描かれる線画。
ここでしか見れない貴重な線画を大公開。**



フィンフィン—Fin Fin—

**フィンフィンは動物的な行動も、人間的な行動もとる生物。そのために、
生物たちの行動は線画の状態で、すでに詳しく決められている。**

フィンフィンの生態



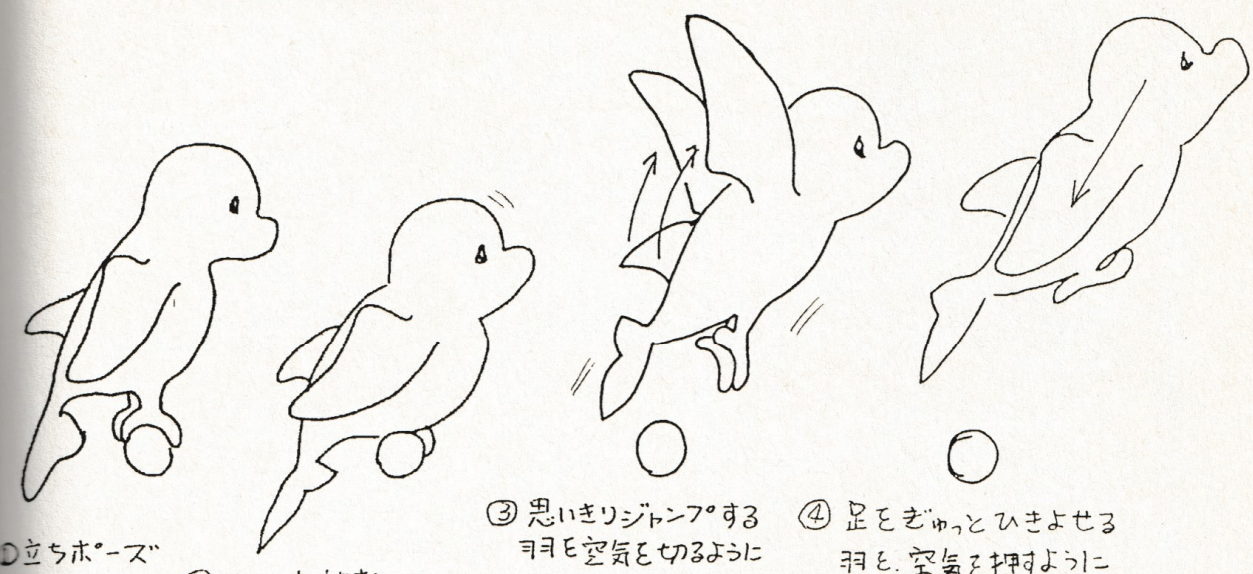
フィンフィンは、体に比べると、わりと頭が大きめ。2.5等身の生物だ。しっぽまで入れると3等身となる。　フィンフィンの羽は、イルカのヒレから発達した。そのため、切れ目があり、羽を自由自在に大きく動かすことができる。

身体の詳細部



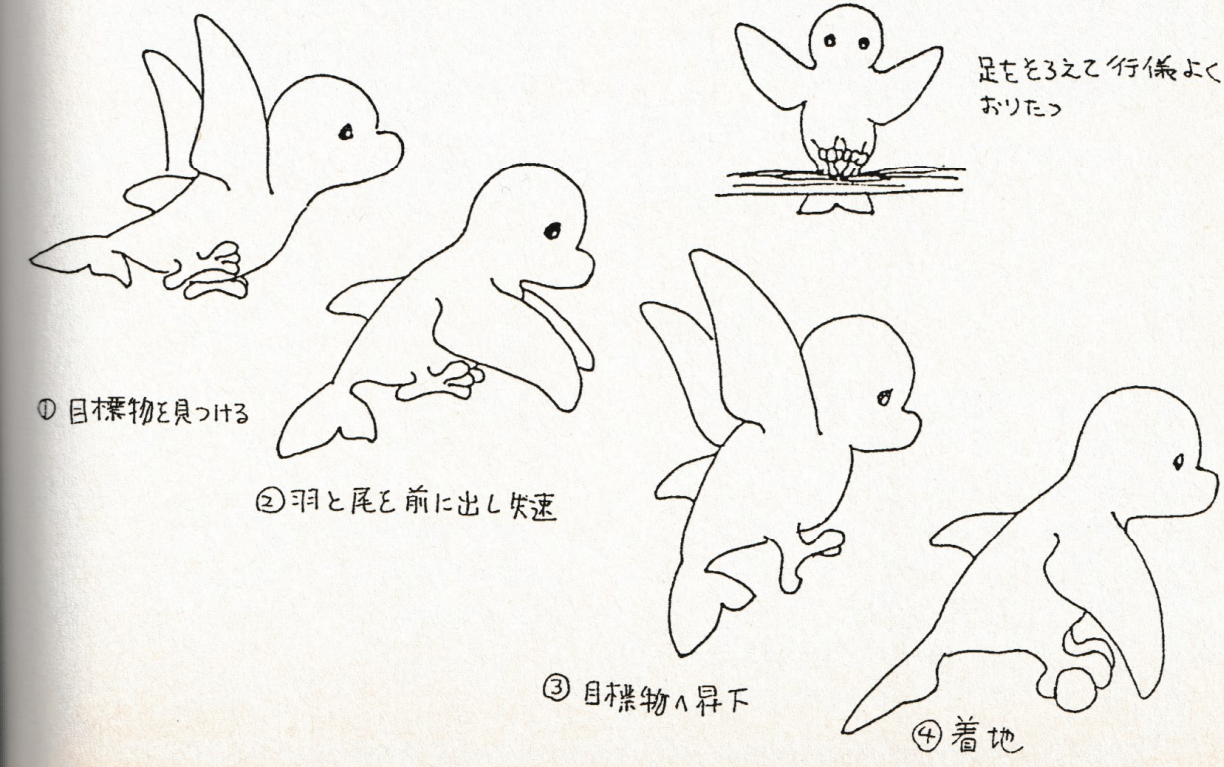
飛び立つ

鳥のように飛んでいくフィンフィンは本当に気持ちよさそう。キミもかまってあげないと、フィンフィンは飛んでいっちゃうぞ。



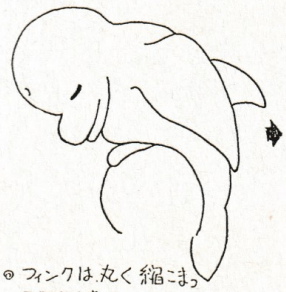
降り立つ

いつも足をそろえて木の枝に止まっているフィンフィン。さすがに着地に失敗する姿は見たことないよね。

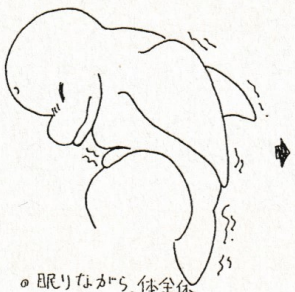


ねむる

日が暮れてくるとかわいらしいアクビをするフィンフィン。寝顔を見れるようになったら、キミもフィンフィンの立派なご主人だ。



・フィンクは丸く縮こまって眠ります。体の表面積を狭くするため、羽はぴったりととじています。



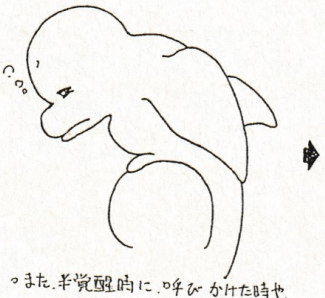
・眠りながら、体全体をぶるぶる、とふるわせる時があります。



・半覚醒時に、夢を見ているように、羽を小さくパタパタさせる時があります。



・半覚醒時に、頭を左右に、ぷるふる、とさせる時もあります。

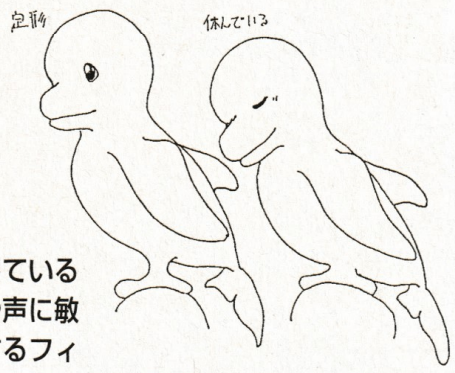


・また、半覚醒時に、呼びかけた時や、目覚める前等に、ほんの少し目をあける時があります。(頭も少し上がる)しかし、2~3秒でまたすぐ眠ってしまいます。



・目覚め、朝ののびの前。

じっとしている



じっとしている時も、音や声に敏感に反応するフィンフィン。目をつむりながら、枝につかまって休んでいる。

・足を縮めて、頭と体を少し前にたおして目をつむる

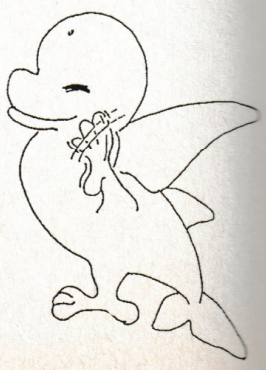
・音や声に敏感に反応する。

・頭を傾ける方向は、決まっておらず前や、左右など、休んでいる向にも動かす。

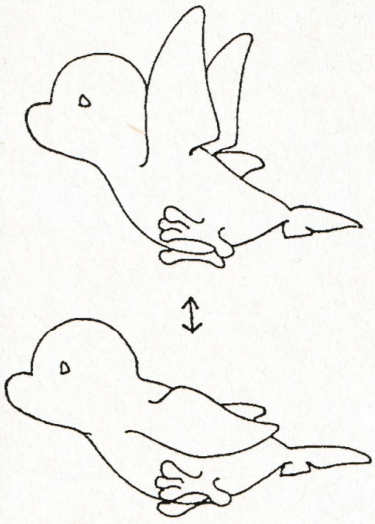
身体をかく



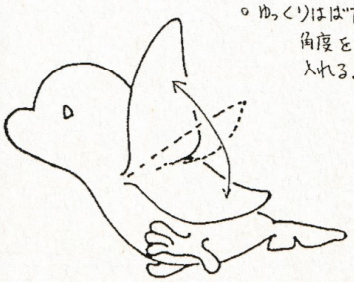
首すじをかいたり、羽の付け根を口でかいたりもする。



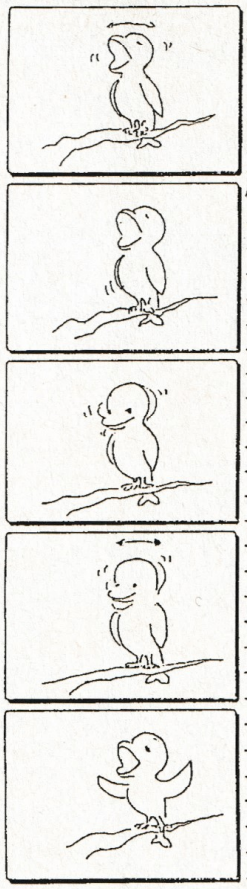
はばたく



羽を大きくはばたかせて飛ぶフィンフィン。実は、飛んでいる時はしっぽでバランスをとっている。あの絶妙な飛び方のコツはしっぽにあったのだ。

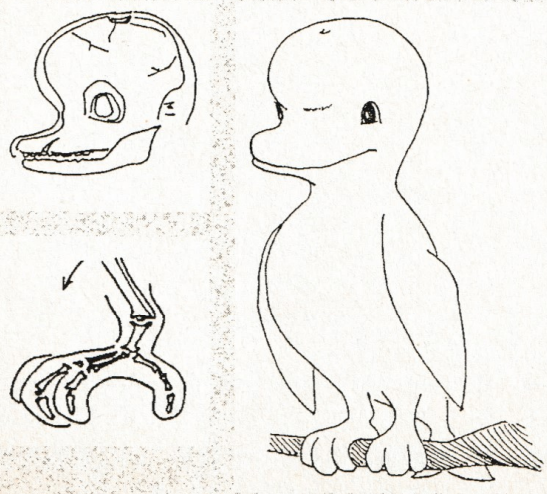


絵コンテ



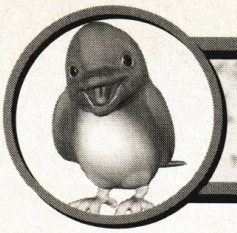
開発スタッフによるフィンフィンの線画。歌はＴＥＯの世界のキーポイントでもある。

体内部レントゲン





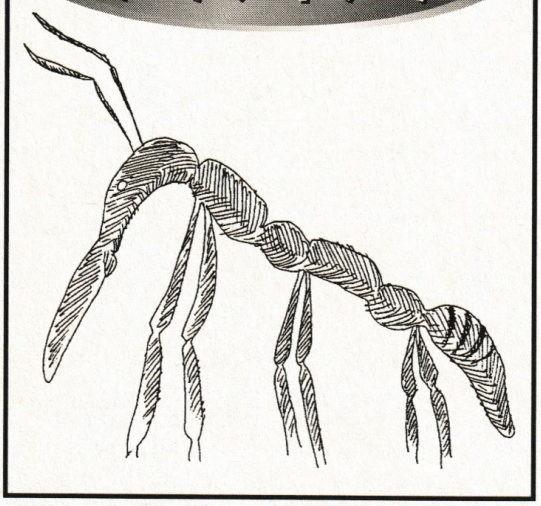
地球人の鼻にあたる部分は、頭頂部についている。これは、フィンフィンが水中で生活をしていた頃のなごりがあることを示している。また、前頭葉の部分が発達しているため、おでこが出た感じになっているが、頭部に気道があることが理由の１つでもある。



まだ見ることのできない生物たち

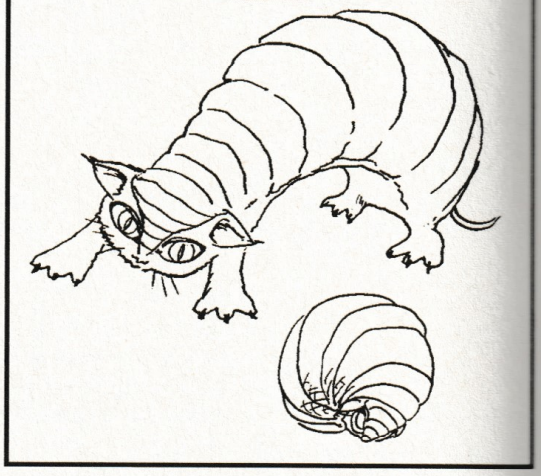
何十匹もいるアニマルとプラントのなかには、惑星TEOでまだ見ることのできない生物たちもたくさんいる。いつか会えるかもしれないぞ。

アリクイアリ



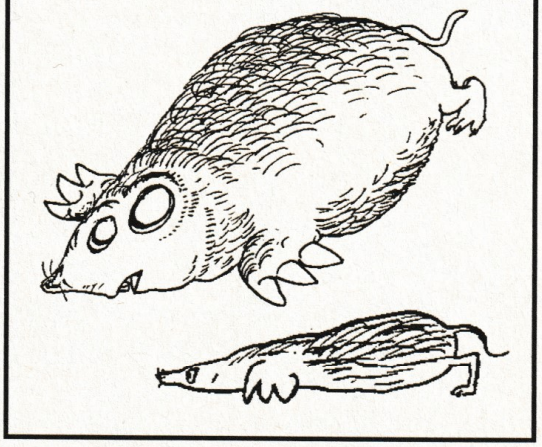
アリクイの姿をした奇妙なアリ。夜行性で性質はおとなしいのだが、フィンフィンは恐がって逃げる。

リンクス



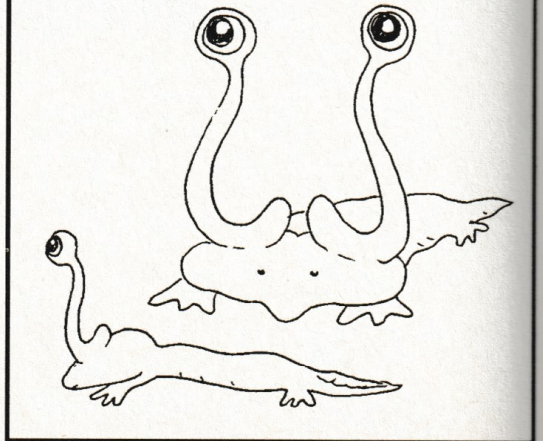
ヤマネコとアルマジロの性質を合わせもった動物。危険が近づくと、丸くなって敵から身を守る。長い胴と短いシッポが特徴だ。

ヒラメモグラ



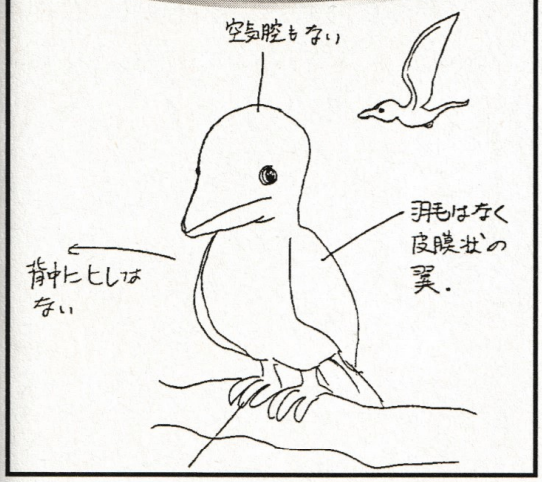
地球のモグラに似た生物。眼の位置がヒラメのようなので、この名がついた。普段は土中にいるのでフィンフィンと出会うことはない。

メクジラ



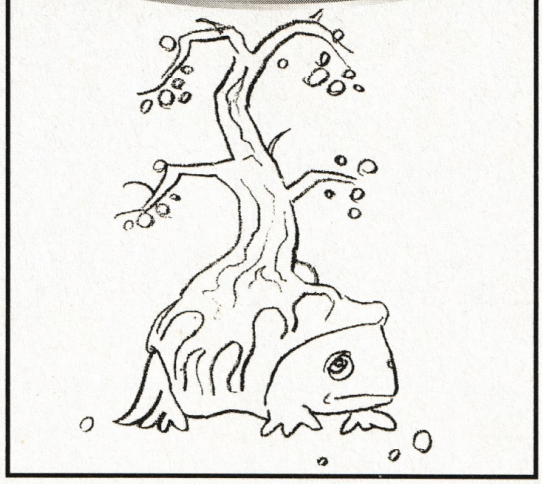
ナメクジとサンショウウオを足したような生き物。長く伸びた目で、いつもあたりをキョロキョロと見回している。

フィンフィンモドキ

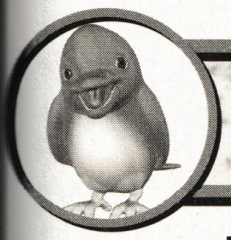


フィンフィンによく似ているが、イルカではなく鳥やトカゲの仲間。ツブの林や谷間に住んでいて「ケーケー」という鳴き声を出す。

カプッチャー



甲羅に木を乗せたカメの一種。甲羅に生える植物は個体ごとにマチマチで、ときには美しい花を咲かせることもある。



ペルナ地区以外に生息する生物

惑星TEOには、人間によく似た「テオリアン」と呼ばれる一族と、「ケダック族」と呼ばれる2つの人類が共存している。

アミルの森では、まれに空を行くＵＦＯが観測される。しかし、ペルナ地区では出会うことはない。





●イラスト：手塚 眞

アニメ＆コマーシャル 秘蔵フィルム大公開

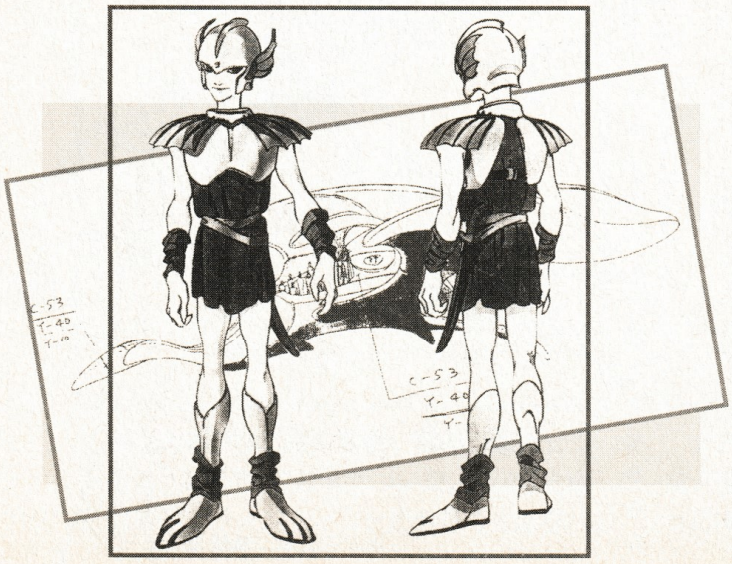
TV未公開の『TEO』のアニメと、『TEO』のTVコマーシャルフィルムをここで一挙公開。TEOの世界を極めたい方必見です!!

Animation
アニメーション
『THE MAGIC PLANET』

今すぐCHECK!! TV CM未公開アニメ

ホームページ上で初公開されているアニメ『TEO—MAGIC THE PLANET—』。「TEO」総合プロデューサーである手塚眞、自らによる原案だ。「TEO」のイメージをそのまま残した美しい音楽と、幻想的なアニメーションがミックスされているファンタジーストーリー。TVでは未放送なので、TEOのホームページ「CHANNEL TEO」を見てみよう。

http://www.ch-teo.com



全32話 タイトル

1	オープニング
2	マスターの災難
3	クレーターの底
4	ピートのめざめ
5	宰相アミラス
6	カイラ国の王宮
7	マリカの悩み
8	マリカの決意
9	旅立ち
10	王宮の城壁
11	アミラスのたくらみ
12	追われるケンプ
13	再びクレーター
14	ケダックの襲来
15	逆転
16	ドラテロ登場
17	マリカあらわる
18	空中戦
19	ドラテロとの戦い
20	しっかりマリカ
21	みんなあぶない！
22	マリカの異変
23	不思議なオーラ
24	あまえるドラテロ
25	ピートの混乱
26	ピートはマスター
27	たわむれる仲間たち
28	マリカを守るため
29	集まった仲間たち
30	TEO-もうひとつの地球-
31	エンディング
32	クレジット

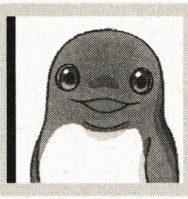
主な登場キャラクター

アニメ版『TEO』に登場するキャラクターを紹介する。他にもたくさんのキャラクターが登場するぞ。



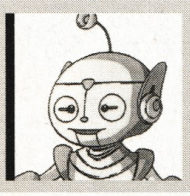
ピート

地球に住む少年。ふとしたことから惑星TEOにくることに。さらに彼の心はロボットの「マスター」の中に入り込んでしまった。



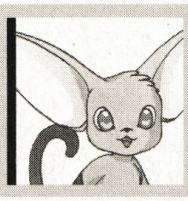
フィンフィン

TEOに住む空を飛ぶイルカ。かなりの速度で飛ぶことができる。同じくらいの速さで泳ぐこともできる。性格は温厚で人によくなつく。



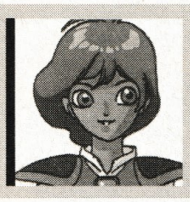
マスター

マリカを守るために作られたロボット。ピートの心が入っているため、感情に目覚める。TEOで「マスター」といえば「使用人」のこと。



パピロ

TEOの草原に住むほ乳類。頭がよく、かなりの速さで走ることができる。狭いところが好きで、穴を掘って潜る。いたずら好きで短気。



マリカ

カイラ国の王女。政略結婚をさせられそうになったために、自由を求めて国を出る。不思議な力を持っている。



ケンプ

ドラゴン族の仲間。普通は人間に近付かないのだが、彼は人間に育てられた変わりもの。ドラゴン族は興奮すると口から火を吐く。

STAFF

製作：富士通株式会社
製作協力：株式会社手塚プロダクション
原案：手塚　眞　　**脚本・監督**：さかいあきお
プロデューサー：久保田稔
音楽：長谷部徹
キャラクターデザイン：神村幸子

CHARACTER VOICE

フィンフィン…長沢直美
マリカ…宮村優子
ピート（マスター）…宮田始典
パピロ…柊　冬美
ケンプ…矢部雅史
ミリカ…さとうあい

Commercial
コマーシャル

CMでも流れたこの映像!!

美輪明宏が出演したTEOのCM、覚えてる？　放映が短い期間だったために、見逃した人も多いはず。「TEO」ファンには嬉しい貴重な映像だ！



手のひらに書かれた「TEO」にロゴマークが印象的。



「TEO」のファンタジーな世界と魅惑的な魅力が満載。

●STAFF/クリエイティブ・ディレクター：手塚眞　アートディレクター：桝岡秀樹　ディレクター：黒田秀樹
●CAST/「私」美輪昭宏　「少年の私」中村竜　「少女」村田和美

『TEO —もうひとつの地球—』
グッズ&アイテム紹介

美しいTEOの世界と、かわいらしいフィンフィンをモチーフにしたアイテムやグッズがずらり。絶対欲しくなること間違いなしの超貴重グッズも揃っているぞ。

◆販売用◆

お店で売られていた商品たちが勢揃い。今では手に入らない物も何点か紹介しているので要注意を。

TEO —もうひとつの地球— Windows 95/98版



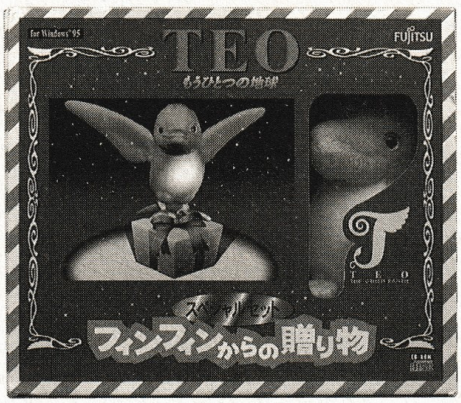
発売元：富士通／販売元：富士通パレックス／
価格：基本ポイント6800円、追加Ⅰ5800円、
追加Ⅱ5800円、追加Ⅲ5800円（全て税別）

基本セット



テオアンテナが入ったセット。
発売元：富士通／販売元：富士通パレックス／
価格：14800円（税別）

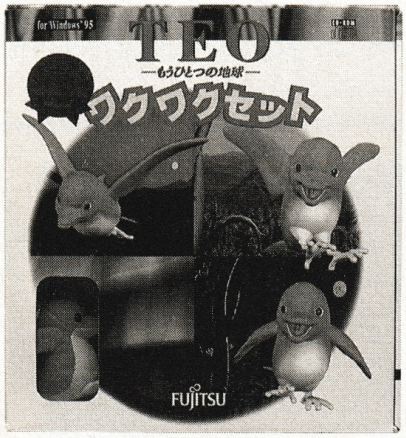
ギフトパック



※限定商品。現在は発売されていません。

アンテナとぬいぐるみ付。
発売元：富士通／販売元：富士通パレックス

ワクワクセット



※限定商品。現在は発売されていません。

アンテナとグッズ付。
発売元：富士通／販売元：富士通パレックス

グッズ

富士通FM-TOWNS版 Ver.1.0

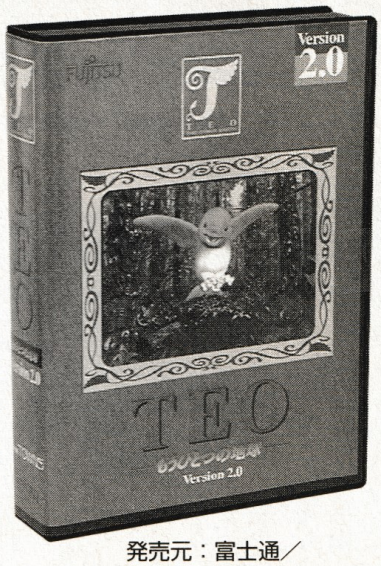
※現在は発売されていません。



現在は入手困難な超レア物だ。
発売元：富士通／販売元：富士通パレックス

富士通FM-TOWNS版 Ver.2.0

※現在は発売されていません。



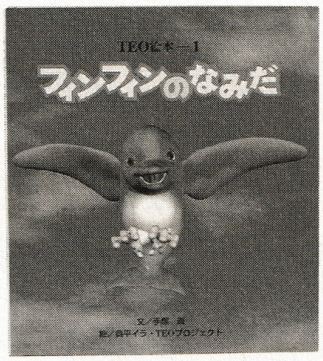
発売元：富士通／
販売元：富士通パレックス

TEO音楽CD TEO—もうひとつの地球—



テーマミュージックを4曲挿入。
発売元：ポリスター／
価格：1359円（税別）

TEO絵本 フィンフィンのなみだ



美しい世界が絵本にも登場だ。
発売元：小学館／
価格：1170円（税別）

マウスパッド —エルモの谷—



エルモの谷の自然をそのままに。
発売元：富士通オフィス機器／
価格：980円

ぬいぐるみ &キーホルダー



発売元：セキグチ
価格：ぬいぐるみ／大2500円・小1350円、
キーホルダー／580円（全て税別）

Tan·Tan·TEO フィンフィンリズムマスター



TEOのキャラクターが総登場するリズム体感ゲーム。
発売元：富士通　販売元：富士通パレックス
価格：4800円（税別）

TEO

The Other Earth

◆キャンペーン用◆

キャンペーン用と販売促進用に作られたグッズたち。プレゼントなどで当たることもあるので、ホームページをのぞいてみて。

テレフォンカード



バラエティ豊かなテレフォンカード。送られても嬉しい。

カレンダー



これで1年中フィンフィンと一緒にいられる。

ポストカード



使わないで飾っておくのもオススメなポストカードだね。

クリスマスカード



クリスマスにこのカードで大事な人にメッセージを添えて……。

ハンカチ&バンダナ

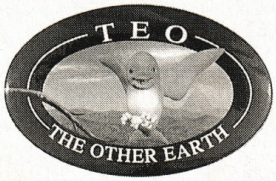


▼ハンカチ

▲バンダナ

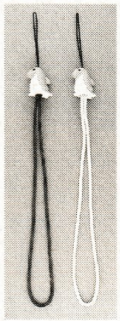
フィンフィンのバンダナを頭に巻いて町へお出かけしたい。

マグネット



あると便利なマグネット。フィンフィンの笑顔がかわいらしい。

携帯ストラップ



携帯電話にはストラップがあると便利。キーホルダーにもいいかも。

マグカップ



とってもシックな感じのマグカップ。これで午後のティータイムを過ごしたい。

浮輪



フィンフィンがとっても愛らしい浮き輪。こんな浮輪持ってたらビーチの人気者になれそう！

◆体験ショップ用◆

西武の渋谷ＬＯＦＴ館に期間限定で開かれたＴＥＯの体験ショップ。その時に販売されたグッズ。珍しい物ばかりが揃っている。

Tシャツ

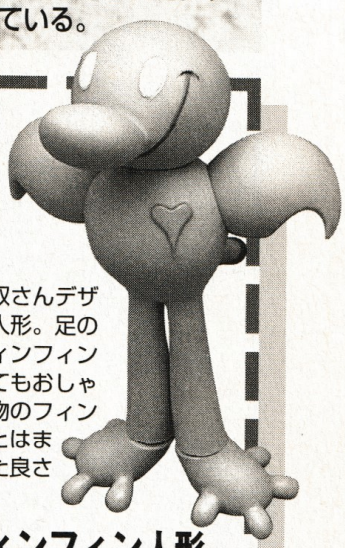


しっかりとした厚手のコットンTシャツが嬉しい。

アクセサリー



エルモの実などのイメージで作られた神秘的なアクセサリー。デザインは新井恵子さん。



井原円奴さんデザインの人形。足の長いフィンフィンがとってもおしゃれ。本物のフィンフィンとはまた違った良さがある。

フィンフィン人形

◆海外用◆

多くの国で発売され、世界にファンをもつＴＥＯ。アメリカと台湾、韓国だけでも各国の味が出ているのがわかるぞ。

USA

USA版TEO



日本版のよりも派手なパッケージがなんともカッコイイ。いかにもアメリカっていう感じ。

Tシャツ&ベビー服



親子で着れちゃうペアのTシャツ&ベビー服。こんなふたりが町を歩いてたら注目の的。

マグカップ



派手なプリントがなんとも鮮やか。

ステイショナリー



こんな文具用品を学校でも、会社でも使いたい。

台湾・韓国

台湾・韓国版



台湾と韓国で発売。箱に書かれた韓国語がなんとも不思議……。

キーホルダー



台湾版のキーホルダー。日本で売って欲しい！

ドイツ

マスコット



ちょこんとして、フワフワのフィンフィンがカワイイ。

ドイツ版音楽CD

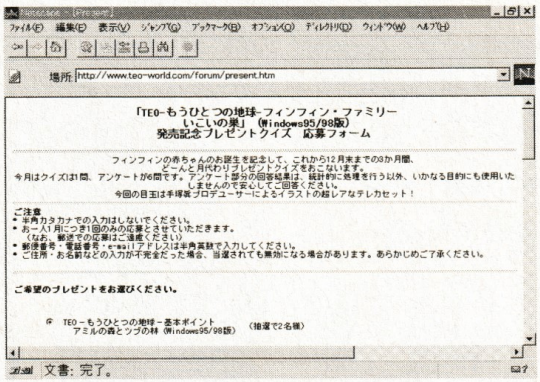


スタイリッシュな雰囲気のジャケットがカッコイイ。

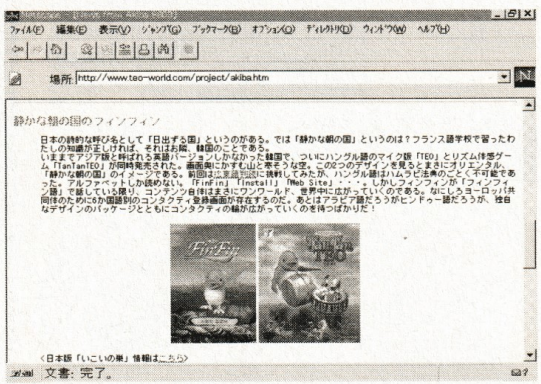
『TEO—もうひとつの地球—』広がるネットワーク

『TEO』ワールドについて語り合う、コンタクティ交流の場へ参加してみよう!
オフィシャルファンクラブ&ホームページと「ゆ会」関連情報を一挙紹介!!

TEO FAN CLUB



『TEO』のオフィシャルホームページには、他では手に入らない貴重な記念グッズをプレゼントするコーナーもある。まめにチャックしよう!



『TEO』のニュースを最速でキャッチできるのが、オフィシャルの強みだ。画面写真は、韓国版『TEO』のパッケージを紹介したページ。

TEO関連情報満載!公式FC+HP

富士通主催によるの公式ファンクラブ。隔月(年6回)発行される会誌「TEO Contact-ees'Forum」では、『TEO』の新着ニュースや会員からの投書、惑星TEOの天候情報などのデータが紹介されている。入会方法は右ページのデータ欄を参照のこと。また現在、同名の公式ホームページも開設中だ。『TEO』の奥深い世界がわかりやすく解説されている。TEOワールドをもっと知りたい人は必見だ。



ゆ会

コンタクティ交流の場「ゆ会」に参加しよう！

「ゆ会」とは？　それは『ＴＥＯ』ファン＝コンタクティによって開かれる、不定期の非オフィシャル・ファン集会のこと。『ＴＥＯ』関連情報から日常的な話題まで、幅広く語り合えるアットホームな雰囲気が魅力だ。『ＴＥＯ』のファンなら誰でも「ゆ会」の一員であり、「ゆ会」の主催者になれる。例えばコンタクティが２人以上集まれば、それは立派なミニ「ゆ会」という訳。現在までコンタクティ同士で旅行に出かける大規模なものから歓迎会を兼ねた小規模なものまで、様々な「ゆ会」が全国各地で開かれている。規模の大きなものは、オフィシャル・ホームページのチャットコーナーやNIFTY-serve会議室で開催日を確認可能だ。一度は参加してみよう。

DATA

■TEO FAN CLUB
入会方法：『TEO』シリーズ各ソフトに同梱されているコンタクティ登録カードに必須事項を記入。富士通宛てに返送するだけでOK。

■『TEO―もうひとつの地球―』
オフィシャルHP
http://www.teo-world.com/

■NIFTY-serve会議室
GOコマンド：SPRX

97年
10月25日　伊豆温泉ツアー
11月22日　ゆ会in電脳ワールド
2月13日　ゆ会in"エルモの谷"発売記念アキバ
27日　ミニゆ会

98年
1月31日　ゆ会@新年会
2月19日　北海道ゆ会
3月21日　有馬ゆ会・1日目
22日　〃　2日目
7月18日　ゆ会@北の方からの初参加者を迎えて&TANTAN TEO発売記念
8月 6日　広島ゆ会
11日　滝川ゆ会・1日目
12日　〃　2日目
9月12日　ナニワゆ会(大阪ゆ会)



TEO
The Other Earth
—もうひとつの地球—
【公式ワールドガイド】

この本およびソフトの内容などについてのお問い合わせには、
お答えできませんので、ご了承ください。

1998年11月15日　初版発行

構成・編集	新井麻理子　澤上珠理　藤井宣宏 (STUDIO HARD MX) 株式会社ゼスト編集部
原稿執筆	新井麻理子　澤上珠理　藤井宣宏　合田夏子　高村泰稔 (STUDIO HARD MX)
本文デザイン	石尾典枝 (PAPER MOON)　渡村 修
カバーデザイン	株式会社ゼスト デザイン制作部
監修	富士通株式会社
発行人	神田英雄
編集人	豊田素行
発行所	株式会社ゼスト 〒104-0033 東京都中央区新川1-16-14 アクロス新川ビル　アネックス6F TEL：03-5543-0616　FAX：03-5543-0617 郵便振替：00160-7-103634 ホームページアドレス http://www.zest-net.co.jp
印刷製本	共同印刷株式会社

●定価はカバーに表示してあります。
●落丁・乱丁がありましたときにはお取り替えいたします。
●本書の無断複写（コピー）は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。
●Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

©FUJITSU LIMITED,1997/1998 ©ZEST Printed in japan ISBN4-88377-054-0 C0076

ゼストの公式ガイドブックシリーズ
絶賛発売中！

PlayStation用ゲームソフト

●A列車で行こう5 完全研究
定価：本体1,200円

●EGG 公式ガイドブック
定価：本体1,100円

●ギャロップレーサー2 完全研究
定価：本体1,400円

●愛しあう事しかできない オフィシャルガイド
定価：本体1,500円

●スーチーパイメモリアル※原画集
～アイドル雀士からドキドキ♥ナイトメアまで～
定価：本体1,600円

●メビウスリンク3D 公式ガイドブック
定価：本体1,200円

●ザ・コンビニ スペシャル ～3つの世界を独占せよ～
公式ガイドブック　定価：本体1,200円

●ロストソード ～失われた聖剣～ 公式ガイドブック
定価：本体1,100円

●ブリガンダイン ～幻想大陸戦記～ 公式ガイドブック
定価：本体1,200円

●ドミノ君をとめないで。公式ガイドブック
定価：本体780円

●A列車で行こう5 公式ガイドブック【ベーシック編】
定価：本体1,100円

●A列車で行こう5 公式ガイドブック【エキスパート編】
定価：本体1,100円

●タクティクスオウガ 公式ガイドブック【カオスルート編】
定価：本体1,750円

●タクティクスオウガ 公式ガイドブック【ロウルート編】
定価：本体1,500円



ISBN4-88377-054-0

C0076 ¥1200E

9784883770540

1920076012006

定価:本体1,200円（税別）



TEO
THE OTHER EARTH

●ビギナーでも安心！ …… 惑星ＴＥＯのヒミツ
●ＴＥＯの魅力に迫る …… スタッフ&コンタクティ・インタビュー
●ＴＥＯミュージアム …… ＴＥＯアニマル図鑑
●貴重な原画を初公開!? …… 設定原画集
●広がるＴＥＯの世界！ …… グッズレビュー

ZEST
発行／株式会社ゼスト

※Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。